

長崎鼻公園屋外トイレ 新築工事

設計監理



株式会社東条設計

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-3-170号
〒892-0803 鹿児島市祇園之洲町 43番地

代表 TEL (098) 248-2251
FAX 248-2261
意匠設計室 FAX 248-2261
構造設計室・技術管理室 FAX 248-2261
E-mail tojo@tojo-aa.co.jp
HP http://www.tojo-aa.co.jp/

承認			照査	作図		
会長	社長	役員 (構造)	室長	担当	構造担当	設備担当
						

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「標準」という。）による。仕様書内の「監督職員」とある記述は「監理者」と置き換えて示す。

(2) 特記仕様書においては、特記仕様書B（図面名称 特記仕様書14）を優先し採用すること

2. 標仕のうち必要として特記する事項と、その他必要として特記する事項を特記事項とする。

3. 特記仕様

(1) 項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。

⊙ 印の付かない場合は、⊗ 印の付いたものを適用する。

⊙ 印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記事項に記載の [] 内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) 特記事項に記載の () は「各部配筋参考図」の当該項目を示す。

(5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また () 内は製品名を示す。

(6) ㊤ 印は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」の特定調達品目を示す。グリーン購入法による調達推進品目は、「鹿児島県環境物品等調達方針」の環境物品等調達推進品目等一覧表及び別表 1（鹿児島県のホームページからダウンロード可能）による。

㊤ 印 ・ 採用する ⊙ 採用しない

4. 工事代金支払方法

見積事項書による

5. 火災保険

契約締結後速やかに火災保険に加入し、保険期間は工期後21日とする。

6. 下請工事における建設業者の優先活用

(1) 工事の一部を下請に付する場合は、鹿児島県内に主たる営業所を有する者を使用するよう努めることとする。

(2) 工事の一部を下請に付する場合は、事前に監理者の承認を得ること

7. 配置技術者等の途中交代

(1) 配置技術者等の途中交代が認められる場合としては、主任技術者又は監視技術者の死亡、疾病、退職等、真にやむを得ない場合のほか、下記に該当する場合である。

① 受注者の責務によらない理由により工事中止又は工事内容の大幅な変更が発生し、工期が延長された場合

② 工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点

③ 大規模な工事の一つの契約工期が多数年に及ぶ場合

(2) 上記の場合であっても、受注者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。

8. C A D図面データの貸与について

本工事に関するC A D図面データの貸与を希望する場合は監理者に申し出ること。なお貸与したC A D図面データは、本工事の履行に必要な施工図及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

また、当該C A D図面データは、完成図提出時まで、に、請負者において履行期間期間中に複製又は再配布しているもの全てを消去すること。

9. ダンプトラック等による過積載等の防止について

(1) 工事用資機材等の積載超過のないようにすること。

(2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。

(3) 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようにすること。

(4) きし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが、工事現場に出入りすることがないようにすること。

(5) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下、「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。

(6) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。

(7) (1)から(6)のことにつき、下請契約における受注者を指導すること。

10. 施工体制台帳の作成等について

本工事の受注者は建設工事の一部を下請に付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写しを監督職員に遅滞なく（遅くとも下請工事の着手前までに）提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について、作成し提出すること。

11. 施工体系図の作成について

本工事の受注者は、工事を施工するために、建設工事の一部又は以下のアからエの業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事の期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督職員に遅滞なく（遅くとも下請工事又は業務の着手前までに）提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度、変更に関する事項について、作成し提出すること。

ア 伐採及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務

イ 土砂やコンクリート等の運搬のみを行う業務

ウ 工事現場の整備（交通誘導を含む）を行う業務

エ その他監督職員が記載を指示した業務等

1. 各章共通事項（続き）

① 一級技能士

下記により適用する技能士については、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行う

適用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	○鉄筋施工（鉄筋組立て作業）
コンクリート工事	○型枠施工 ○コンクリート圧送作業
鉄骨工事	○構造物鉄工作業
ブロック・A L Cパネル工事	・ブロック建築 ・A L Cパネル施工
防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ○シーリング防水工事作業
石工事	・石材施工（石張り施工）
タイル工事	・タイル張り
木工事	・建築大工
屋根及びとい工事	○建築板金（内外装板金作業）
金属工事	○内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）
左官工事	○左官
建具工事	○サッシ施工 ・ガラス施工 ・自動ドア施工 ・木製建具加工作業
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工 ・サッシ施工 ・ガラス施工
塗装工事	○塗装（建築塗装作業）
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・表装（壁装作業）
植栽工事	・造園
畳工事	・畳製作

完成図 ※作成する（完成図の種類 ※全ての設計図 ・ () ）

完成図の様式等

A 3縮小2つ折り製本 ※3部 ・ () 部

A 1二つ折り製本 ※1部 ・ () 部

完成図のC A D図面データ C D-R ※3枚 ・ () 枚

・作成しない

保全に関する資料 ・作成する（提出部数 ※1部 ・ () 部）

※作成しない

13 完成写真等

⑧ 特記仕様書Bによる

撮影箇所及び方法については、「工事写真撮影ガイドブック（平成30年版）」による

下記のものを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする

区 分	分 類	規 格	部 数	備 考
着工前	※デジタルカメラ ・カメラ	全量：キャビネサイズ 部分：サービスサイズ	※1部 ・ () 部	・
工事中 （検査状況）	※デジタルカメラ ・カメラ	カラーサービスサイズ	※1部 ・ () 部	・
完成時 （出来形時）	※デジタルカメラ ・カメラ	全量：キャビネサイズ 部分：サービスサイズ	※1部 ・ () 部	・
実態調査用	※デジタルカメラ	カラーサービスサイズ	※2部	・
電子データ	・完成時写真 ・工事中写真 ・着工前写真			・

100×125以上の原板を使う場合には、監督職員にあらかじめ焼きを提出し確認を受ける

電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形式最高画質とし、CD-ROMにて提出する

撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影者 ・監督職員の承諾する撮影業者

14 設備工事との取合い

⑧ 特記仕様書Bによる

⑮ 設計G L

⑯ 既存部分等への措置

⑰ 騒音振動の防止

18 部分使用

この工事については、部分使用は ・有（図示） ・無

仮使用申請 ・要（署名） ・不要

モデル確認用先行施工 ・要（署名） ・不要

※先行施工の時期については、建具・器具の形状、電源、弱电等の位置に至るまで施工承認後、他室施工が出来る期間を確保すること

この工事については、一部完成は ・有（図示） ・無

20 中間検査

⑧ 特記仕様書Bによる

⑳ 白蟻防除工事

この工事については、（公社）日本しろあ対策協会（以下、「協会」という。）発行「防除施工標準仕様書」（以下、「防除」という。）による

この項目に記載の「防 []」内表示番号は、防除の当該項目を示す

※使用薬剤は、協会認定薬剤のうち、非有機リン系薬剤とする

※工事施工者は、原則として協会登録施工業者とする

※土壌処理

処理の適用区分 ※行う ・行わない

処理の方法 ※帯状散布法、面状散布法の一つ又はその組み合わせによって行う

・木材処理

処理の適用区分 ※行う ・行わない

処理の方法 ※吹付け処理法、塗布処理法の一つ又はその組み合わせによって行う

※処理の箇所

・木造の場合

※I.4.(2)①～⑥及び⑧に規定する箇所

・陸梁、合掌、小屋梁、間仕切、桁、火打梁などと数軒又は軒桁との仕口面

・2階梁、火打梁と間差との仕口面

・木造以外の場合

※I.4.(2)⑦に規定する箇所

・2以上の階の床面より1m以内にある木部でコンクリート、石、レンガに接する面

※保証書及び期間

白蟻防除工事について、下記事項を記載した5年保証書を提出すること。なお、保証書については元請業者と白蟻防除工事施工業者と連帯とする。

(7)工事名称 (4)建物の所在地 (4)建物の構造・用途・面積 (1)白蟻防除工事の施工面積

(4)防除処理別並びに使用薬剤名、製造者名、施工年月日 (4)登録施工業者会員名簿

(4)施工した防除士の氏名及び登録番号・取得年月日・登録年月日 (4)保証期間

※工事施工にあたり、協会発行「しろあ防除施工における安全管理基準」を遵守すること

① 適用基準等

※ 適用を受ける関係法令等を遵守すること（参考）

○建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修）（平成28年版）

○構内舗装・排水設計基準及び参考資料（平成31年版）

○建築工事安全施工技術指針（官庁営繕部）

○建設工事公衆災害防止対策要領（建設工事編）（官庁営繕部）

○建設副産物適正処理推進要綱（平成14年5月30日国土交省通知122号等）

○廃棄物の処理及び清掃に関する法律

○資源の有効な利用の促進に関する法律（リサイクル法）

○建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）

2 工事実績情報の登録

※適用しない

対象工事 ※工事請負金額500万円以上 ・ ()

③ 品質計画

・施工計画書で工法を定める場合の風圧力の計算

※基準風速（V0）（ 38 ）m/s

※地表面粗度区分 ・I ○Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ

・上記風圧力の1.3倍の風圧力に対する安全性を確保する

・上記風圧力の1.15倍の風圧力に対する安全性を確保する

適用工種 ・A L Cパネル（外壁、屋根）・押出成形セメント板（外壁）・外壁シ張（乾式）・外壁材（外断熱工法）
・長尺金属板葺・折板葺・アルミ笠木・ガラスブロック・シート防水（機械式）
・屋上緑化システム ・ ()

④ 電気保安技術者

工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。

○要 ・不要

⑤ 施工条件

標仕 1.3.5以外の施工条件 ・図示 ○現場説明書

⑥ 発生材の処理

・発注者に引渡しを要するもの（ ・金属類 ・P C B含有物 ・ () ）

引渡し場所 ※構内 ・ ()

・特別管理産業廃棄物の処理方法（ ）

再生資源化を図るもの又は廃棄するもの ・有 ・無

分 類	受入れ施設名	所 在 地	搬出距離（km）
・コンクリート塊	監理者の承認する施設		
・アスファルト・コンクリート塊			
・建設発生木材			
・			
・			

上記に示す受入れ施設は参考であり、実施にあたっては関係法令を遵守し、適切な処理を行うものとする。

なお、処分場の決定にあたっては、監督職員と協議する。

※建設廃棄物処理計画書の作成

※再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書の作成

⑦ 材料の品質等

本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、J I S及びJ A Sマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)から(6)すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。

ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。

(1) 品質及び性能に関する試験データを整備していること

(2) 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること

(3) 安定的な供給が可能であること

(4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること

(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること

(6) 販売、保守等の営業体制を整えていること

なお、商品名等が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。

※工事に使用する材料は、アスベストを含有しないもの（含有率0.1％以下）とする。

⑧ 環境への配慮

本工事の建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するとともに、次の [1.4.1]

1)から4)を満たすものとする。

1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、M D F、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する

2) 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する

3) 接着剤は可塑剤（フタル酸ジ－n－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する

4) 1)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする

また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は次のとおりとする

規制対象外

①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料

②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

第三種品

①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料

②建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

アスベスト含有建材

本工事に使用する材料については、アスベストを含有しないものとする

⑨ 特別な材料の工法

標仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による

10 化学物質の濃度測定

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン（学校施設 [1.5.9]

については、パラジクロロベンゼンを加えた6物質）の濃度を測定し、監督職員に報告すること。測定はパッシブ型採取機器により行う

着工前の測定 ・行う

測定対象室 ・図示 ・ ()

測定箇所数 ・図示 ・ ()

※結果が良好でなかった場合には、監督職員と協議し対策を行うこと

MEMO

株式会社 東条設計

東 条 正 博

代表

一級建築士 第 96589号

構 造 計

構造成計一級建築士 第 3194号

一級建築士 第115262号

鎌 田 道 清

管 理 建築士

一級建築士 第231912号

折 田 孝 一

設 備 計

設備設計一級建築士 第 4067号

一級建築士 第292543号

上 野 祐 司

司

PROJECT

長崎鼻公園屋外トイレ 新築工事

PROJECT NO.

2 2 4 0 9 8

DATE

2 0 2 6 . 0 6 . 3 0

SUBJECT

特記仕様書 1

SCALE

—

NO.

A-1-2

一街に緑を、建築に夢を—

② 仮設工事	① 監督職員事務所 ※ 特記仕様書Bによる	・設ける 面積規模（・10m2・20m2・35m2・65m2・100m2・（・）m2）程度	[2.3.1]	④ 地盤工事 ・構造特記仕様書による	① 地盤調査の結果 調査位置、柱状図、地層構成、地下水位 ※資料提供または構造図による	④ 地盤工事 ・構造特記仕様書による	8 液状化対策	工法（・）仕様、範囲、計測、試験等・図示による（・）	
	② 工事用水 ③ 工事用電力 ④ 現場表示板 ※ 特記仕様書Bによる	構内既存の施設 ※利用できない・利用できる（※有償・無償） 構内既存の施設 ※利用できない・利用できる（※有償・無償） 規格 ※下図による・監督職員の承諾による 材質 ※県産杉板・監督職員の承諾による	[2.3.1] [2.3.1]		⑨ 砂利地業 ⑩ 捨コンクリート地業 ⑪ 床下防湿層		材料 ※再生クラッシュラン ⑤・切込砂利及び切込碎石 [4.6.2] 厚さ及び使用範囲 [4.6.3] 厚さ使用範囲 ※60基礎スラブ下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下 ・ コンクリートの仕様 ※無筋コンクリートによる・ [4.6.4] [6.14.1～3] セメントの種類 ※高炉セメントB種 ⑤・ [6.3.1] 厚さ及び使用範囲 [4.6.4] 厚さ使用範囲 ※50基礎スラブ下、基礎梁下、土に接するスラブ下 ・ 施工範囲 [4.6.2.5] ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く） 材料 ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上・ 防湿層の位置 ※図示による		
③ 土工	① 埋戻し及び盛土 ② 地均し ③ 建設発生土の処理 ④ 山留め ⑤ 根切り	材料及び工法 [3.2.3] [表3.2.1] ・材料（・）・工法（・） 種別・A種 ※B種・C種・D種 埋戻し及び盛土は、300mm程度ごとに締め固める 余盛りは土質に応じて行う 工事完了後の整地は建物周囲2m程度の範囲について水はけよく地均しを行う ただし、仮設等で使用した範囲については原形に復する ※構外指示の場所 [3.2.5] 受入れ場所（・） 受入れ場所での処置（・敷均し ※たい積） 搬出距離（・）km 処分費・有償 ※無償 上記に示す受入れ場所・距離は参考であり、実施にあたっては監督職員と協議のうえ決定する ・構内指示の場所（・敷均し・たい積） ・存置する ⑤ 存置しない ※工事着手前に根切方法、山留工法、排水方法、使用機器等を記した、施工計画図を提出し、監理者の承認を得るものとする ※根切完了後、深さ、大きさ、床さらいの状態について、監理者の承認を得るものとする 特殊工法	[3.2.3] [表3.2.1] [3.2.5]	③ 既製コンクリート杭地業 ④ 鋼杭地業 ⑤ 場所打ちコンクリート杭地業 ⑥ 地盤改良 （セメント系固化材を用いた工法による改良） ⑦ 置換コンクリート地業 （ラッブルコンクリート地業）	試験堀 ※行う 孔径はオーガー径とする 箇所数は構造図による 試験堀の施工は試験杭の施工に先立ち行う 試験杭の施工 ※本杭の施工に先立ち行う（杭種・杭径毎）・ 試験杭の位置、本数 ※最初の本 杭の精度 水平方向の位置ずれ ※杭径の1/4かつ100mm以下・ 杭の傾斜 ※1/100以内・ 杭継手工法 [4.3.2、6] [7.2.5] ・アーク溶接継手 ・標仕 4.3.6による 溶接材料 ・標仕 7.2.5(1)(2)による・図示による（・） ・無溶接継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの） 工法 ※評定等を受けた工法（・図による） 検査 ※評定等により定められた項目（・図による） 施工 ※評定等をされた施工管理基準による（・図による） 杭頭の処理 [4.3.8] ※行う 処理方法（切断にともなう補強方法含む） 杭頭の中詰め材料 [4.3.8] ※基礎のコンクリートと同調合のもの・ 試験杭の施工 ※本杭の施工に先立ち行う（杭種・杭径毎）・ [4.2.2] 試験杭の位置、本数 ※最初の本 杭の精度 水平方向の位置ずれ ※杭径の1/4かつ100mm以下・ 杭の傾斜 ※1/100以下・ 杭の現場継手 [4.4.5] ・溶接継手 形状 ・JIS A 5525による・ 溶接材料 [4.4.3] ・標仕 7.2.5(1)(2)による・図示による（・） ・無溶接継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの） 工法 ※評定等を受けた工法（・図による） 検査 ※評定等により定められた項目（・図による） 施工 ※評定等をされた施工管理基準による（・図による） 杭頭の処理 [4.4.6] ※行う 処理方法（切断にともなう補強方法含む） 杭頭の中詰め材料 [4.4.6] ※基礎のコンクリートと同調合のもの・ 掘削工法 [4.5.1] [4.5.4、5] ・アースドリル工法 安定液 ※使用する・使用しない ・リバース工法 ・オールケーシング工法 孔内の水張り・行う・行わない 併用する工法 ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 図示による（・） 鋼管巻き材料・SKK400・SKK490・ ・拡底杭工法 図示による（・） 安定液・使用する・使用しない・ 試験杭 [4.2.2] [4.5.4、6] 試験杭の施工 ※本杭の施工に先立ち行う（杭径毎） 試験杭の位置、本数 ※最初の本 孔壁測定 [4.5.4、6] ※行う 測定方法、測定箇所は構造図による・行わない 杭の精度 水平方向の位置ずれ ※100mm以下・ 杭の傾斜 ※1/100以内・ 工法 ・浅層混合処理工法 適用範囲、仕様及び計測、試験は構造図による ・深層混合処理工法 適用範囲、仕様及び計測、試験は構造図による 形状、支持地盤、仕様は構造図による セメントの種類 [6.3.1] ※高炉セメントB種 ⑤・	⑤ 鉄筋工事 ・構造特記仕様書による	① 鉄筋の種類・継手・定着長さ ② 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む） ③ 鉄筋スペーサー 梁巾の打増し	※構造図または構造関係共通事項（配筋標準図）による [5.2.1] [5.3.4] 最小かぶり厚さ（目地底から算出を行う） [5.3.5] ※構造図による 柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 ・有り 適用箇所（・） 主筋のかぶり厚さ ※鉄筋径の1.5倍以上 耐久性上不利な部分（塩害等を受けるおそれのある部分等） ・有り 適用箇所（・） ・加えるかぶり厚さ（・）mm ・ ※種類：鋼製（防錆処理済）・塩ビ製・コンクリート製 何れでも可 ※柱と梁が同面となる所は、梁巾30m/m打増しとする	
	MEMO		株式会社 東条設計		代表 一級建築士 第 96589号 東 條 正 博	構造設計 一級建築士 第 3194号 一級建築士 第115262号 鎌 田 道 清	PROJECT 長崎鼻公園屋外トイレ 新築工事	SUBJECT 特記仕様書 2	
				管 理 建築士 一級建築士 第231912号 折 田 孝 一	設備設計 一級建築士 第 4067号 一級建築士 第292543号 上 野 祐 司	PROJECT NO. 2 2 4 0 9 8	DATE 2 0 2 6 . 0 6 . 3 0	SCALE —	NO. A-1-3

⑥ コンクリート工事 ・ 構造特記仕様書による	① コンクリートの種類及び強度	普通コンクリートの設計基準強度（N/mm2） ※構造図による [6. 2. 2] 構造体強度補正值 (S) ※標仕 表6. 3. 2による	7 鉄骨工事 ・ 構造特記仕様書による	① 鉄骨製作工場	※構造図による [7. 1. 3]	7 鉄骨工事 ・ 構造特記仕様書による	⑬ 溶接接合	開先の形状 ※構造図による スカラップの形状 ※構造図による エンドタブの切断する部分 ※見え掛り部となる部分は監理者に確認の上切断すること 切断する範囲 ※エンドタブ、裏あて金等は、梁フランジの端から直線上に切断する。その際の残し寸法は、5mm以下とする。 なお、切断面が交差する場合は、交差部をアール状に加工する ・ 切断面の仕上げ ※標仕7. 6. 7(1) (a) ②による 溶接部の余盛り高さ ※JASS 6 付則6「鉄骨精度検査基準」付表3〔溶接〕による ・ 完全溶込み部の超音波深層試験 ・行わない ※行う ○工事溶接の場合 ・全数検査 ○抜取検査 AQL (%) ○4. 0 ・2. 5 節 ○全て 検査水準 ○第6水準 ○工事現場溶接の場合 ※全数検査 突き合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査 「突き合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・マニュアル(建築研究所監修)」による ・抜き取り検査 ① ※抜き取り検査 ②	
	② レディーミクストコンクリートの類別	類別 ※Ⅰ類 ・Ⅱ類 [6. 2. 1] [表 6. 2. 1]		② 鉄骨製作工場における 施工管理技術者	・適用する [7. 1. 3] [7. 1. 4] ・適用しない		⑭ 溶接部の試験	○材料等 ※構造図による [7. 2. 1]	
	③ セメント	種類 [6. 3. 1] [表 6. 3. 1] ○普通ポルトランドセメント又は高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 (普通ポルトランドセメントの品質はJIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。 ・ 施工箇所 () ・高炉セメントB種 ㊥ 施工箇所 () ・フライアッシュセメントB種 ㊥ 施工箇所 () ・		③ 鋼材	高力ボルトの区分 ※トルシア形高力ボルト [7. 2. 2] [7. 3. 2] [7. 4. 1～9] ・ ※JIS形高力ボルト セットの種類 ※2種 (F10T) ・ 高圧ボルトの径 ※構造図による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示による (構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-1 絶縁距離及びボルト間隔) ・ すべり係数試験 ※行わない ・行う 試験方法等 ・図示による () ・			④ 骨材	アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B [6. 3. 1]
	④ 骨材	アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B [6. 3. 1]		④ 高力ボルト	高力ボルトの区分 ※トルシア形高力ボルト [7. 2. 2] [7. 3. 2] [7. 4. 1～9] ・ ※JIS形高力ボルト セットの種類 ※2種 (F10T) ・ 高圧ボルトの径 ※構造図による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示による (構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-1 絶縁距離及びボルト間隔) ・ すべり係数試験 ※行わない ・行う 試験方法等 ・図示による () ・			⑤ 混和材料	○混和剤 混和剤の種類 ※標仕 6. 3. 1 (4) (a) による ・ ○混和材 混和材の種類 ※標仕 6. 3. 1 (4) (b) による ・
	⑤ 混和材料	○混和剤 混和剤の種類 ※標仕 6. 3. 1 (4) (a) による ・ ○混和材 混和材の種類 ※標仕 6. 3. 1 (4) (b) による ・		⑤ 普通ボルト	ボルト及びナットの材料 ※標仕 表7. 2. 3 (JIS附属書品) による ・ ・標仕 表7. 2. 3 (JIS附属書品) 又は、JIS本体規格品 (ISO規格) による。 (JIS本体規格品による場合は、ボルトの種類を呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルト、強度区分を4. 6又は4. 8の鋼製とし、ナットの種類を六角ナット-Cの鋼製とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。) 座金 ※標仕 7. 2. 3 (4) による ・ ボルトの径 ※構造図による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示による (構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-1 絶縁距離及びボルト間隔) ・			⑥ 気乾単位容積質量	普通コンクリート ○2. 3t/m3 程度 [6. 2. 3] [6. 10. 1]
	⑥ 気乾単位容積質量	普通コンクリート ○2. 3t/m3 程度 [6. 2. 3] [6. 10. 1]		⑥ 溶融亜鉛めっき高力ボルト	セットの種類 [7. 2. 2] [7. 12. 4、5] ※1種 (F8T相当) ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルトの径 ※構造図による 溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 ※大臣認定を受けた内容による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示による (構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-1 絶縁距離及びボルト間隔) ・ 摩擦面の処理 [7. 12. 5] ※プラスト処理 (表面粗度50μmRz以上) 又は、リン酸塩処理 リン酸処理とした場合は、すべり係数の確認を行う。 ※すべり係数試験 試験方法等 ※「高力ボルト接合設計施工ガイドブック (日本建築学会)」による			⑦ ひび割れ誘発目地 打継目地	目地寸法 ※標仕 9. 7. 3かつ図示による 間隔、位置、形状 ※図示による [6. 6. 4] [6. 8. 1] [9. 7. 3]
	⑦ ひび割れ誘発目地 打継目地	目地寸法 ※標仕 9. 7. 3かつ図示による 間隔、位置、形状 ※図示による [6. 6. 4] [6. 8. 1] [9. 7. 3]		⑦ 溶接材料	溶接材料 [7. 2. 5] ※標仕 7. 2. 5 (1) (2) による ・ ・標仕 7. 2. 5 (1) (2) 以外の溶接材料 材料及び使用箇所 ・図示による			⑧ コンクリートの仕上り	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ ※コンクリートの打放し仕上げ種別と適用箇所は図示による コンクリートの仕上りりの平たんさは仕上げに応じ決定する [6. 2. 5] [6. 8. 2] [表6. 2. 5]
	⑧ コンクリートの仕上り	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ ※コンクリートの打放し仕上げ種別と適用箇所は図示による コンクリートの仕上りりの平たんさは仕上げに応じ決定する [6. 2. 5] [6. 8. 2] [表6. 2. 5]		⑧ スタッド	材質、形状及び寸法 ※頭付きスタッド JIS B 1198 呼び名等 ※構造図による			⑨ 打増し厚さ (打放し仕上げ部)	○打放し仕上げ (仕上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む) の打増し厚さ (外部に面する部分に限る) ○20mm ・ ○打放し仕上げ (仕上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む) の打増し厚さ (内部に面する部分に限る) ○20mm ・ ○外壁タイル張りで、MOR工法又は目荒らし (高圧水洗) 工法を行う場合は、外部側に20mmの打増しを行う [6. 8. 2]
	⑨ 打増し厚さ (打放し仕上げ部)	○打放し仕上げ (仕上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む) の打増し厚さ (外部に面する部分に限る) ○20mm ・ ○打放し仕上げ (仕上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む) の打増し厚さ (内部に面する部分に限る) ○20mm ・ ○外壁タイル張りで、MOR工法又は目荒らし (高圧水洗) 工法を行う場合は、外部側に20mmの打増しを行う [6. 8. 2]		⑨ 柱底均しモルタル	モルタルの種別 ○無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料、誤合等 ※標仕 表7. 2. 9 (2) (7) から (i) による ・ ・標仕 表7. 2. 9 (1) によるモルタル [7. 2. 9]			⑩ 型枠	せき板の材料及び厚さ ○合板 (※12mm ・) ㊥ ※メッシュ型枠・床用鋼製デッキプレートを使用する際は監理者の承諾を得ること 断熱材を兼用した型枠材の使用 ・行う 適用箇所 () ※コンクリート化粧打放し部分の型枠は、打放し用塗装合板とする ※地中埋設となる捨て型枠の使用は、禁止する ※はく離剤を使用する場合は、コンクリート面に悪影響を及ぼさないものとする スリーブの材種・規格等 ※標仕 6. 8. 2 (9) (7)、(i) による [6. 8. 2] [6. 8. 2]
	⑩ 型枠	せき板の材料及び厚さ ○合板 (※12mm ・) ㊥ ※メッシュ型枠・床用鋼製デッキプレートを使用する際は監理者の承諾を得ること 断熱材を兼用した型枠材の使用 ・行う 適用箇所 () ※コンクリート化粧打放し部分の型枠は、打放し用塗装合板とする ※地中埋設となる捨て型枠の使用は、禁止する ※はく離剤を使用する場合は、コンクリート面に悪影響を及ぼさないものとする スリーブの材種・規格等 ※標仕 6. 8. 2 (9) (7)、(i) による [6. 8. 2] [6. 8. 2]		⑩ 工作図	増築工費等を含め、既存建築物との取り合う箇所がある場合は現場実測のうえ、作成を行う。 [7. 3. 2]			⑪ 製作精度	鉄骨の製作精度は、JISS 6 付則6〔鉄骨精度検査基準〕に加えて次による 通しダイヤフラムの突合わせ継手の食い違い寸法 ※H12建告第1464号第二号イ (2) による ・ アンダーカットの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ (3) による ・ 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ※「突合わせ継手の食い違い・仕口のずれの検査・補強マニュアルによる」 ・ [7. 3. 3]
	⑪ 製作精度	鉄骨の製作精度は、JISS 6 付則6〔鉄骨精度検査基準〕に加えて次による 通しダイヤフラムの突合わせ継手の食い違い寸法 ※H12建告第1464号第二号イ (2) による ・ アンダーカットの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ (3) による ・ 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ※「突合わせ継手の食い違い・仕口のずれの検査・補強マニュアルによる」 ・ [7. 3. 3]		⑫ 鉄骨の仮組	※実施する場合は施工計画書を作成し監理者の承諾を得ること [7. 3. 10]			⑫ 鉄骨の仮組	※実施する場合は施工計画書を作成し監理者の承諾を得ること [7. 3. 10]
	⑫ 鉄骨の仮組	※実施する場合は施工計画書を作成し監理者の承諾を得ること [7. 3. 10]						⑫ 鉄骨の仮組	※実施する場合は施工計画書を作成し監理者の承諾を得ること [7. 3. 10]

一街に緑を」建築に夢を一

MEMO			代 表	一級建築士 第 96589号 東 條 正 博	構 造 計	構造設計一級建築士 第 3194号 一級建築士 第115262号 鎌 田 道 清	PROJECT 長崎鼻公園屋外トイレ 新築工事		SUBJECT 特記仕様書 3	
			管 理 建築士	一級建築士 第231912号 折 田 孝 一	設 備 計	設備設計一級建築士 第 4067号 一級建築士 第292543号 上 野 祐 司	PROJECT NO. 2 2 4 0 9 8	DATE 2 0 2 6 . 0 6 . 3 0	SCALE —	NO. A-1-4

⑨

防水工事

1

アスファルト防水

屋根保護防水
防水層の種類

種 別

施工箇所

断熱材 ㊦

絶縁用シート

立上り部の保護方法

・A-1

・A-2

・A-3

・B-1

・B-2

・B-3

・A1-1

・A1-2

・A1-3

・B1-1

・B1-2

・B1-3

(種類) ※JIS A 9521に基づく押出法
ポリスチレンフォーム断熱材 3種bA
(スキン層付き)

(厚さ) ※25mm ・ 50mm ・

※ポリスチレン
フィルム
厚さ0.15mm以上

※乾式保護材

・コンクリート押え

・れんが押さえ
(JIS R 1250)

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※R種
厚さ ・ mm以上
※標仕 表9.2.3から標仕 表9.2.8による
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※R種
厚さ ・ mm以上
※標仕 表9.2.3から標仕 表9.2.8による
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ ※水下 80mm以上 ・
床タイル張り ※水下 60mm以上 ・
・乾式保護材
窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレーブ養生したもの
(品質・性能・試験方法)
建築材料等品質性能表による
屋根露出防水
高日射反射率防水の適用 ㊦ ・有 ※無
防水層の種類

種 別

施工箇所

断熱材 ㊦

仕上塗料

備 考

・D-1

・D-2

・D-3

・D-4

・D1-1

・D1-2

標仕 9.2.2(9)
(種類)

(厚さ)
※25mm ・ 50mm ・

・アスファルト
ルーフィング類
の製造所の仕様

・アスファルト
ルーフィング類
の製造所の仕様

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示 ・
屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の、脱気装置の種類及び設置数量
種類 ・ ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
設置数量 ・ 個 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
防水層の種類

種 別

施工箇所

種 別

施工箇所

・E-1

常温(冷)工法 ・適用する ・適用しない

保護層 ・設ける(※図示 ・) ・設けない

防水層下地の立上り
※コンクリート打放し仕上げ 標仕 表6.2.4[打放し仕上げ種別]のB種 ・
押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 ・
防水層の下地のモルタル塗り ・適用する(施工範囲 ※図示 ・) ・適用しない

屋根排水溝 ※図示 ・
施工標識 ※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標識を取り付ける

高日射反射率防水の適用 ㊦ ・有 ※無

防水層の種類

[9.3.2、3] [表9.3.1~3]

種 別

施工箇所

断熱材 ㊦

防湿用シート

仕上塗料

備考

・AS-T1

・AS-T2

・AS-T3

・AS-T4

・AS-J1

・AS1-T1

・AS1-J1

標仕 9.2.2(9)
(種類)

(厚さ)
※25mm ・ 50mm ・

・設ける
(改質アスファルトシートの製
造所の仕様によ
る)

・改質アスファルトシートの製
造所の仕様

・改質アスファルトシートの製
造所の仕様

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※R種
厚さ ・ mm以上
※標仕 表9.3.1から表9.3.3による
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※R種
厚さ ・ mm以上
※標仕 表9.3.1から表9.3.3による
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※R種
厚さ ・ mm以上
※標仕 表9.3.1から表9.3.3による

⑨

防水工事 続き

3

合成高分子系
ルーフィングシート防水

押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 ・
屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の、脱気装置の種類及び設置数量
種類 ・ ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
設置数量 ・ 個 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
施工標識 ※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標識を取り付ける

高日射反射率防水の適用 ㊦ ・有 ※無 [9.4.2~4] [表9.4.1~3]

種 別

施工箇所

絶縁用シートの材質

断熱材 ㊦

仕上塗料

備考

・S-F1

・S-F2

・S-M1

・S-M2

・S-M3

・S1-F1

・S1-F2

・S1-M1

・S1-M2

※発泡ポリエチレンシート

※発泡ポリエチレンシート

※発泡ポリエチレンシート

標仕 9.4.2(3)(i)(b)
(種類)

(厚さ)
※25mm ・

標仕 9.4.2(3)(i)(a)
(3)(i)による
(種類)

(厚さ)
※25mm ・

・ルーフィングシート
の製造所の仕様

・ルーフィングシート
の製造所の仕様

・ルーフィングシート
の製造所の仕様

・ルーフィングシート
の製造所の仕様

・ルーフィングシート
の製造所の仕様

S1-F1、S1-F2S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルムの設置
・設ける ・設けない
S-M2又はS1-M2の立上り部の工法
・接着工法 立上り面のシート厚さ ・ ※1.5mm
・機械的固定方法
屋内防水

種 別

施工箇所

保 護 層

立上り部の保護

塗厚

平場のモルタル塗り

・床塗り工法
・下地モルタル塗り
・

モルタル塗厚

・S-C1

・

・

・7mm以下
・

屋内保護密着工法
平場のモルタル塗りの目地 ・種類 ・目地割 ・図示
ルーフィングシートの種類及び厚さ
種類 ・
厚さ ・
※標仕 表9.4.1、表9.4.2及び表9.4.3による
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ・ ※ルーフィングシート
設置数量 ・ 個 ※ルーフィングシート
固定金具の材質、形状及び寸法
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれら鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
・
接着工法においてプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
・行う(・図示 ・)
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り(種別S-F1、S1-F1の場合)
・行う(・図示 ・)
施工標識 ※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標識を取り付ける

高日射反射率防水の適用 ㊦ ・有 ※無

防水層の種類

[9.5.3] [表9.5.1、2]

種 別

施工箇所

仕上塗料

保護層

備考

・X-1

・X-2

・Y-1

・Y-2

※地下外壁防水 ・

※屋内防水
・

・主材料の製造
所の仕様

・主材料の製造
所の仕様

・主材料の製造
所の仕様

・主材料の製造
所の仕様

・

・適用する
※適用しない

ウレタンゴム系塗膜防水X-1(絶縁工法)の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ・ ※主材料の製造所の仕様
設置数量 ・ 個 ※主材料の製造所の仕様
ゴムアスファルト系塗膜防水Y-1、Y-2の工程数及び各工程の使用量
・
※主材料の製造所の仕様
施工標識 ※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標識を取り付ける

9

防水工事 続き

5

ケイ酸質系塗布防水

防水層の種類

[9.6.1、3、4] [表9.6.1、2]

種 別

施工箇所

種 別

施工箇所

・C-U1

・C-U1

・C-U1

・C-U1

防水層の下地
壁 (・ ※コンクリート打放し仕上げ(表6.2.4 B種))
天井部 (・ ※コンクリート打放し仕上げ(表6.2.4 B種))
下地処理
コンクリートの打継ぎ箇所の処理
・図示
・
※打継ぎ部分に対し、幅30mm及び深さ30mmにV字にはつり、水洗い清掃した後、防水剤の製造所の指定する材料を充填
型枠締付け材にコーンが使用されている部位及び防水剤の塗布面以外の下地処理
・図示
・
下表以外は、標仕 表9.7.1による [9.7.2、3、5] [表9.7.1]
ただし、外装壁タイル接着剤張り目地の場合のシーリングは11章に、カーテンウォール目地の場合のシーリングは17章による

施工箇所

シーリング材の種類(記号)

シーリング材の目地寸法
※標仕 9.7.3(i)(7)~(9)による
・図示
・
接着性試験
※簡易接着性試験
・引張接着性試験
防水工事の施工について、10年保証を提出すること。なお、保証書は元請業者と施工業者の連帯とする。(シーリングを除く)

⑥

シーリング

※

特記仕様書Bによる

7

保証書及び期間

MEMO

代表

一級建築士 第 96589号
東 條 正 博

構 造 計

構造設計一級建築士 第 3194号
一級建築士 第115262号
鎌 田 道 清

管理建築士

一級建築士 第231912号
折 田 孝 一

設 備 計

設備設計一級建築士 第 4067号
一級建築士 第292543号
上 野 祐 司

PROJECT

長崎鼻公園屋外トイレ 新築工事

PROJECT NO.

2 2 4 0 9 8

DATE

2 0 2 6 . 0 6 . 3 0

SUBJECT

特記仕様書 4

SCALE

—

NO.

A-1-5

一街に緑を 建築に夢を—

16	建具工事	1 防火戸 ※建具表による ・ [16. 1. 3] 2 防犯建具部品 ・適用する（※建具表による ・ ） [16. 1. 6] ※適用しない	16 建具工事（続き）	9 木製建具 建具材の加工、組立時の含水率 ※B種 ・ [16. 7. 2～4] 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ ・フラッシュ戸 表面材の合板の種類 <table> <tr> <th>合板の種類</th><th>規格等</th><th>備 考</th></tr> <tr> <td>※普通合板 ㊥</td><td>表面の樹種 生地、透明塗料塗り（※ラワン程度） 不透明塗料塗り（※しな程度） 板面の品質（） 接着の程度（・1類 ・2類）</td><td></td></tr> <tr> <td>・天然木 化粧合板 ㊦</td><td>樹種名（） 接着の程度（・1類 ・2類）</td><td></td></tr> <tr> <td>・特殊加工 化粧合板 ㊧</td><td>化粧加工の方法 （・オーバーレイ ・プリント ・塗装） 表面性能（）タイプ 接着の程度（・1類 ・2類）</td><td></td></tr> </table> 表面板の厚さ ※標仕 表16. 7. 6による ・かまち戸 かまち樹種（） 鏡板樹種（） 見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・ふすま 張りの種別（・Ⅰ型 ・Ⅱ型） 上張り（押入等の裏側以外） ・鳥の子 ※新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ ・塗り縁 ※生地縁（素地） ・生地縁（ウレタンクリヤー塗装） 見込み寸法 ※19. 5mm ・建具表による ・戸ぶすま 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による 枠、くつずりの材料 ・建具表による ・マスターキー ※製作する（※新規 ・既存にあわせる） [16. 8. 2～4] [表16. 8. 1] ※シリンダー箱錠 ※レバーハンドル 材質 ※アルミニウム合金 ・ステンレス ・黄銅 座金 ※丸座 ・長座 ・握り玉 材質 ※ステンレス ・本締まり錠（性能） 建築材料等品質性能表による ・空錠 ※レバーハンドル 材質 ※アルミニウム合金 ・ステンレス ・黄銅 座金 ※丸座 ・長座 ・握り玉 材質 ※ステンレス ・グレモン錠 レバーハンドルの材質 ※亜鉛合金 ・ステンレス 製造所 ※図示 ・ピボットヒンジ カバー部の材質 ※ステンレス ・亜鉛合金 ・フロアヒンジ ・Grade1 ※Grade2 カバー部の材質 ※ステンレス ・ヒンジクローザー（丁番型） 材質 ・鋼（焼付け塗装） ・ヒンジクローザー（ピボット型） 材質 ・鋼（焼付け塗装） ・ドアクローザー ・Grade1 ※Grade2 材質 ※アルミニウム合金 ・押棒、押板 材質 ・ステンレス ・黄銅 ・合成樹脂 ・アームストッパー 材質 ・鋼（クロームめっき） ※ステンレス ・クレセント 材質 ※建具製造所の仕様による ・排煙オペレーター（※埋込 ・露出） 16. 9. 2, 3] <table> <tr> <th>自動ドア</th><th>種類</th><th>性能</th><th>防錆</th><th>センサーの種類</th><th>凍結防止</th></tr> <tr> <td>・引き戸</td><td>・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSLD-1 ・DSLD-2</td><td>※標仕 表16. 9. 11による</td><td>・適用する</td><td>・マツトスイッチ ・光線（反射）スイッチ ・熱線スイッチ</td><td>・適用する</td></tr> <tr> <td>・多目的トイレ 出入口引き戸</td><td>・</td><td>※標仕 表16. 9. 21による</td><td>・適用しない</td><td>・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ</td><td>・適用しない</td></tr> <tr> <td>・</td><td>・図示</td><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 駆動力 ※電気式又は電動油圧式 ・（） 電源 ※単相100V（過電流保護装置付） ・（） 補助センサー ※安全光線スイッチ 1組 ・（） 各開閉装置毎に補助センサーを設ける	合板の種類	規格等	備 考	※普通合板 ㊥	表面の樹種 生地、透明塗料塗り（※ラワン程度） 不透明塗料塗り（※しな程度） 板面の品質（） 接着の程度（・1類 ・2類）		・天然木 化粧合板 ㊦	樹種名（） 接着の程度（・1類 ・2類）		・特殊加工 化粧合板 ㊧	化粧加工の方法 （・オーバーレイ ・プリント ・塗装） 表面性能（）タイプ 接着の程度（・1類 ・2類）		自動ドア	種類	性能	防錆	センサーの種類	凍結防止	・引き戸	・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSLD-1 ・DSLD-2	※標仕 表16. 9. 11による	・適用する	・マツトスイッチ ・光線（反射）スイッチ ・熱線スイッチ	・適用する	・多目的トイレ 出入口引き戸	・	※標仕 表16. 9. 21による	・適用しない	・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ	・適用しない	・	・図示	・				16 建具工事（続き）	13 重量シャッター シャッターの種類 耐風圧強度 備 考 <table> <tr> <td>・管理用シャッター</td><td>耐風圧強度（）N/m2</td><td>※障害物感知装置（自動閉鎖型）</td></tr> <tr> <td>・外壁用防火シャッター</td><td>耐風圧強度（）N/m2</td><td></td></tr> <tr> <td>・屋内用防火シャッター</td><td></td><td>※危害防止機構</td></tr> <tr> <td>・防煙シャッター</td><td></td><td></td></tr> </table> 開閉方式による種類 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式 リモコンの有無 ※無 ・有（リモコン個数 個） 電動式の場合の電源 ※三相200V 0. 75kw以下（過電流保護装置付） 管理用シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・ 開閉方式の種類 ※手動式 ・上部電動式（手動併用） シャッターケース ※設ける ・設けない 耐風圧強度（）N/m2 スラットの材質 ※JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板） めっきの付着量 （※Z06又はF06 ・ ・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板） めっきの付着量 （※AZ90 ・ スラットの形状 ※インターロッキング形 ・オーバerring形 ガイドレール・座板の材質 ※ステンレス（SUS304） ・溶融亜鉛めっき鋼板 電動式の場合の危害防止機構 ※有（障害物感知装置自動閉鎖型） 電動式の場合の電源 ※単相100V（過電流保護装置付） ・（）	・管理用シャッター	耐風圧強度（）N/m2	※障害物感知装置（自動閉鎖型）	・外壁用防火シャッター	耐風圧強度（）N/m2		・屋内用防火シャッター		※危害防止機構	・防煙シャッター			16. 12. 2, 3]
合板の種類	規格等	備 考																																																					
※普通合板 ㊥	表面の樹種 生地、透明塗料塗り（※ラワン程度） 不透明塗料塗り（※しな程度） 板面の品質（） 接着の程度（・1類 ・2類）																																																						
・天然木 化粧合板 ㊦	樹種名（） 接着の程度（・1類 ・2類）																																																						
・特殊加工 化粧合板 ㊧	化粧加工の方法 （・オーバーレイ ・プリント ・塗装） 表面性能（）タイプ 接着の程度（・1類 ・2類）																																																						
自動ドア	種類	性能	防錆	センサーの種類	凍結防止																																																		
・引き戸	・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSLD-1 ・DSLD-2	※標仕 表16. 9. 11による	・適用する	・マツトスイッチ ・光線（反射）スイッチ ・熱線スイッチ	・適用する																																																		
・多目的トイレ 出入口引き戸	・	※標仕 表16. 9. 21による	・適用しない	・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ	・適用しない																																																		
・	・図示	・																																																					
・管理用シャッター	耐風圧強度（）N/m2	※障害物感知装置（自動閉鎖型）																																																					
・外壁用防火シャッター	耐風圧強度（）N/m2																																																						
・屋内用防火シャッター		※危害防止機構																																																					
・防煙シャッター																																																							
16	建具工事	4 網戸等 性能等級 [16. 2. 2, 4, 5] [表14. 2. 1] 外部に面する建具 ・A種（建具符号：・建具表による ・） ※B種（建具符号：・建具表による ・） ・C種（建具符号：・建具表による ・） 防音ドア、防音サッシ ・遮音性の等級（・建具表による ・） （建具符号：・建具表による ・） 断熱ドア、断熱サッシ ㊤ ・断熱性の等級（・建具表による ・） （建具符号：・建具表による ・） 耐震ドア ・面内変形追随性の等級（・建具表による ・） （建具符号：・建具表による ・） 枠の見込み寸法 ・建具表による ・ 表面処理の種別 外部に面する建具 ・A-1種 ・A-2種 ※B-1種 ・B-2種 ・ 皮膜等の種類（※標仕 表14. 2. 11による ・） ※C-1種 ・C-2種 ・ 皮膜等の種類（※標仕 表14. 2. 11による ・） 結露水の処理方法 ※図示 ・ 水切り板、ぜん板 ※建具表による ・図示	16. 2. 3]	<table> <tr> <th>種 類</th><th>材 種</th><th>線 径</th><th>網 目</th></tr> <tr> <td>・防虫網</td><td>・合成樹脂製 ※ガラス繊維入り合成樹脂製</td><td>※0. 25mm以上</td><td>※16～18メッシュ</td></tr> <tr> <td>種類</td><td>・ステンレス（SUS316）製</td><td>・</td><td>・</td></tr> <tr> <td>・防鳥網</td><td>・ステンレス（SUS304）線材</td><td>1. 5mm</td><td>網目寸法15mm</td></tr> </table>	種 類	材 種	線 径	網 目	・防虫網	・合成樹脂製 ※ガラス繊維入り合成樹脂製	※0. 25mm以上	※16～18メッシュ	種類	・ステンレス（SUS316）製	・	・	・防鳥網	・ステンレス（SUS304）線材	1. 5mm	網目寸法15mm	16 建具工事（続き）	15 樹脂製建具 性能等級 [16. 2. 2, 5] [16. 3. 2～5] 外部に面する建具 ・A種（建具符号：・建具表による ・） ・B種（建具符号：・建具表による ・） ・C種（建具符号：・建具表による ・） 防音ドア、防音サッシ ・遮音性の等級（・T－1 ・T－2） （建具符号：・建具表による ・） 断熱ドア、断熱サッシ ㊤ ・断熱性の等級（・H－4 ・H－5 ・H－6 ・） （建具符号：・建具表による ・） 枠の見込み寸法 ・建具表による ・ 表面色 ※標準色 ・特注色 ・ 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ガラス ※複層ガラス ・	16. 2. 2] [16. 4.																																
種 類	材 種	線 径	網 目																																																				
・防虫網	・合成樹脂製 ※ガラス繊維入り合成樹脂製	※0. 25mm以上	※16～18メッシュ																																																				
種類	・ステンレス（SUS316）製	・	・																																																				
・防鳥網	・ステンレス（SUS304）線材	1. 5mm	網目寸法15mm																																																				

MEMO		代表	一級建築士 第 96589号 東 條 正 博	構 造 計	構造設計一級建築士 第 3194号 一級建築士 第115262号 鎌 田 道 清	PROJECT 長崎鼻公園屋外トイレ 新築工事		SUBJECT 特記仕様書 6	
		管 理 建築士	一級建築士 第231912号 折 田 孝 一	設 備 設 計	設備設計一級建築士 第 4067号 一級建築士 第292543号 上 野 祐 司	PROJECT. NO. 2 2 4 0 9 8	DATE 2 0 2 6 . 0 6 . 3 0	SCALE －	NO. A-1-7

17

カーテンウォール

1

取付方法、性能等

取付方法

・層間方式

・柱・梁方式

・方立方式

・スバンドレル方式

・

性能

耐震性能

水平方向 (KH)

垂直方向 (KV)

耐風圧性

水密性

気密性

遮音性

断熱性

耐火性能

・1.0

・0.5

・30分

・1時間

耐温度差性

・80℃

・70℃

・60℃

主要部材の耐風圧性能 (ガラスを除く)

支点間距離 (h)

・たわみ量が± (1/150) × hかつ絶対量20mm以下であること

部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な

4mを超える

・

垂みが起こらないこと。

層間変位追従性

建築物の構造種別

層間変位量 (h=支点間距離)

変位後の状態

鉄骨造

・± (1/200) × h以上

部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な垂みが起こらないこと。

鉄筋コンクリート造

・± (1/300) × h以上

シーリングは補修程度の損傷であること。

鉄骨鉄筋コンクリート造

シーリング材

下表以外は標仕 表9.7.1による

被着体の組合せ

シーリング材の種類

記 号

主成分による区分

金属

ガラス

石、タイル

ガラス

カーテンウォール板間目地

構造用ガスケット

・適用する (施工箇所 ・ 図示 ・)

材質

・クロロブレン系

・EPDM系

・シリコン系

形状

・H型

・Y型

・C型

寸法 (mm)

ガラス板厚 ()

・支持栓の厚さ ()

・ウェブの寸法 ()

※適用しない

断熱材

種類 ()

厚さ (mm) ()

施工箇所

・ 図示

耐火材料

施工部位

種 別

規格帯

・ファスナー部

・取付けブラケット

・パネル目地部

・層間ふさぎ

カーテンウォールの材料

材 料

規格等

表面処理

映像調整

※アルミニウム製

※標仕 16.2.3による

・A-1種

・A-2種

※B-1種

・B-2種

・行う

・行わない

被膜等の種類 (※標仕 表14.2.1による ・)

製品及び取付位置の寸法許容差

※標仕 17.2.1～3による

ガラス溝の寸法、形状

※製造所の仕様による

3

P Cカーテンウォール

18

塗装工事

1

材料

内部に使用する塗料は、原則水性系のもとする

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外

・防火材料

※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。

・次の箇所を除き防火材料とする。〈箇所： 〉

2

素地ごしらえ

3

錆止め塗料塗り

4

塗装

5

フッ素樹脂塗装

6

焼付塗装

19

内装工事

1

接着剤

2

ビニル床シート

3

ビニル床タイル

4

ビニル幅木

5

ゴム床タイル

6

カーペット敷き

7

合成樹脂塗床

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外

・

接着剤は可塑剤 (難揮発性の可塑剤を除く) が添付されていないものとする。

施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類

・ 図示

・

種類

JIS記号

施工箇所

色柄

特殊機能

厚さ (mm)

備考

※ 発砲層のないもの

※ FS (複層ビニル床シート)

・

・無地

・マーブル柄

・帯電防止

・耐動荷重性

※ 2.0

・発砲層のあるもの

・

・無地

・柄物

・防滑性

・耐薬品性

工法

※熱溶接工法

・突付け (施工箇所 :)

特殊機能

帯電防止

・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上～3.2未満

又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) $1 \times 10^7 \sim 1 \times 10^{10} \Omega$ 程度

・

JIS記号

施工箇所

色柄

寸法

特殊機能

厚さ (mm)

備考

・ F T (複層ビニル床タイル)

※無地

※300 × 300

・帯電防止

・柄物

・450 × 450

・防滑性

※ 2.0

・ 2.5

・ 3.0

※ K T (コンポジションビニル床タイル)

・ T T

※無地

※300 × 300

・帯電防止

・柄物

・450 × 450

・防滑性

・ 2.0

・ 3.0

※ F O A (置敷きビニル床タイル)

・ F O B

・無地

※500 × 500

※帯電防止

・柄物

・防滑性

※ 4.0

以上

特殊機能

帯電防止

・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上～3.2未満

又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) $1 \times 10^7 \sim 1 \times 10^{10} \Omega$ 程度

・

置敷形ビニル床タイル (FOA・FOB) の接着剤は粘着はく離形とし、製造所の指定する製品とする

・帯電防止ビニル床タイル (パネル一体タイプ)

右に示す製造所の商品程度とする ()

・耐熱性ビニル床タイル

右に示す製造所の商品程度とする ()

材質

※軟質

・硬質

高さ (mm)

※60

・75

・100

厚さ (mm)

※1.5以上

・

色柄

()

厚さ (mm)

・3.0

・4.5

・6.0

・9.0

寸法 (mm) ()

・タイルカーペット

バイル形状

種別

施工箇所

寸 法

総厚さ (mm)

備 考

※ ループバイル

※ 第一種

・ 第二種

※ 500 × 500

・

※ 6.5

・

・ カットバイル

・ 第一種

・ 第二種

※ 500 × 500

・

※ 6.5

・

・ カット・ループ併用

・ 第一種

・ 第二種

※ 500 × 500

・

※ 6.5

・

色柄

※無地

・柄物

タイルカーペットの敷き方

平 場

※市松敷き

・模様流し

・

階段部分

※模様流し

・市松敷き

・

見切り、押え金物

・適用する (材質、形状等 ※図示 ・)

※適用しない

種 別

施工箇所

工 法

仕上げの種類

・厚膜型塗床材

弾性ウレタン樹脂系塗床

※厚膜型塗床材

エポキシ樹脂系塗床

※薄膜型塗床材

・アクリル樹脂塗床 (JIS K 5970)

※平滑仕上げ

・防滑仕上げ

・つや出し仕上げ

・平滑仕上げ

・防滑仕上げ

工法

塗布量 (kg/㎡)

・

表面仕上げ

・平滑

・防滑

溶剤

・水性色

・溶剤系

・無溶剤系

仕上げ色

・標準色

・

塗料のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外

・

19.2.2、3

19.2.2

19.2.2

19.2.2

19.2.2

19.3.3、4

19.4.2、3

表 19.4.1～8

19.2.2

MEMO

株式会社 東条設計

代 表

一級建築士 第 96589号 東 條 正 博

構 設 計

構造設計一級建築士 第 3194号 一級建築士 鎌 田 道 清

管 理 建築士

一級建築士 第 231912号 折 田 孝 一

設 備 設 計

設備設計一級建築士 第 4067号 一級建築士 上 野 祐 司

PROJECT

長崎鼻公園屋外トイレ 新築工事

PROJECT NO.

2 2 4 0 9 8

DATE

2 0 2 6 . 0 6 . 3 0

SUBJECT

特記仕様書 7

SCALE

—

NO.

A-1-8

一街に緑を

建築に夢を

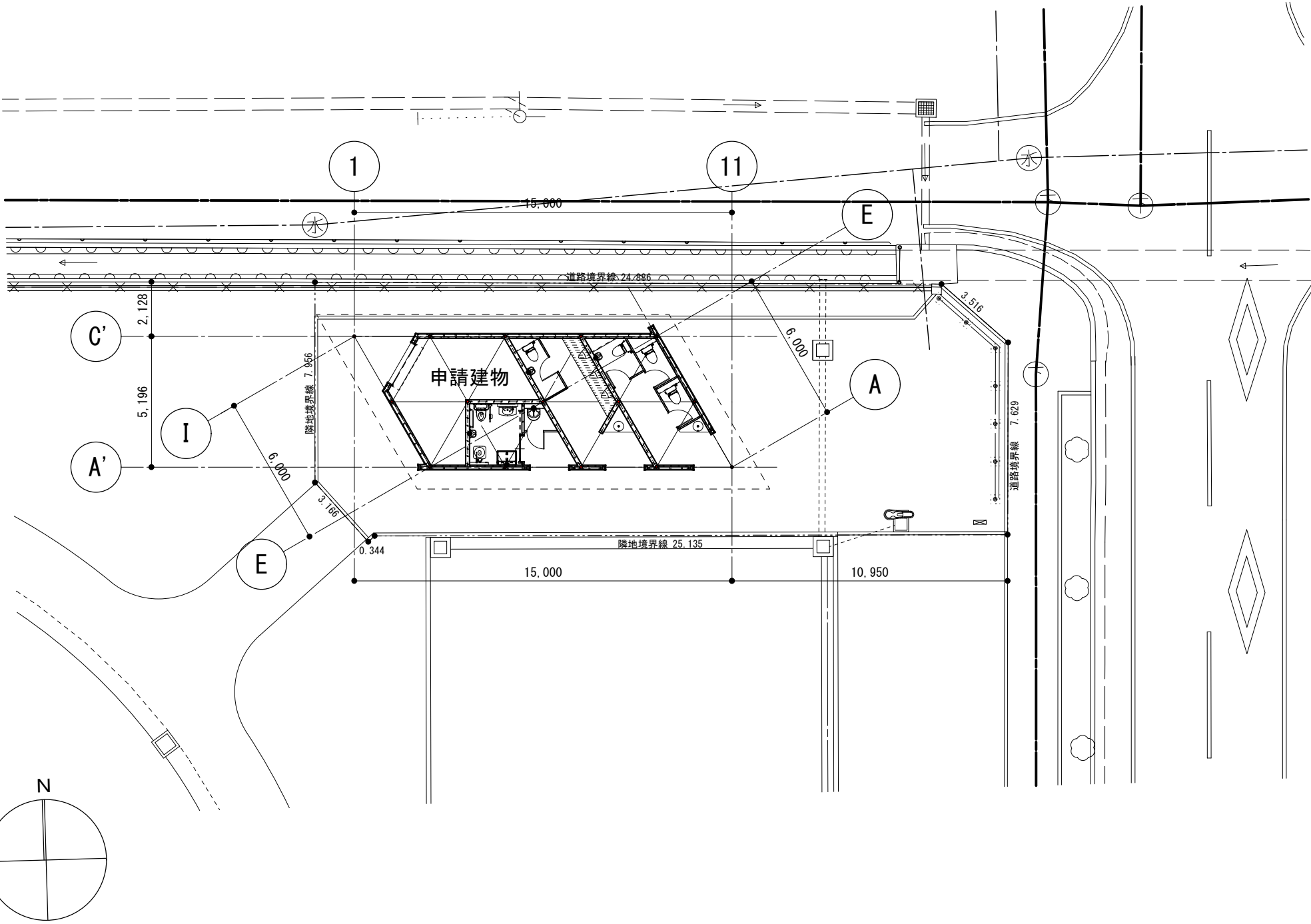
建築工事特記仕様書B		② 仮設工事		④ 現場表示板		規格 ※東条設計監理要綱書による ※設置位置は、監督職員との協議による。また取付けは、強風に對し安全な工法とする		18 塗装工事		7 特殊な塗装		※特殊な無機・有機床塗装材等は、メーカー仕様による		[23.1.3]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
① 各章共通事項		⑫ 提出図書等		⑤ 障害物の処理		⑥ 保護設備		19 内装工事		12 学校間仕切		枠： 見込80mm以上、溶融亜鉛めっき鋼板（JIS G 3302）又は電気亜鉛めっき鋼板（JIS G 3313） 粉体塗装 厚1.2mm、 レール SUS304 厚1.5mm H.L又はNo.4 仕上げ 障子： 見込み 21mm以上 溶融又は電気亜鉛めっき鋼板（粉体塗装）又は アルミ押出型材 ドア： 電気亜鉛めっき鋼板（焼付塗装）厚0.6mm、芯材 ペーパーハニカムコア パネル： 電気亜鉛めっき鋼板（焼付塗装）厚0.8mm、芯材 ペーパーハニカムコア 色調： 各メーカー仕様によるが、既設がある場合は同一色調とする。 製造所： 問わない。監理者が承認する事業所		[20.2.10]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
⑬ 完成写真等		⑭ 設備工事との取扱い 施工範囲		⑮ 定期点検		⑯ その他		20 ユニット及びその他工事		42 避難はしご 43 止水板 44 表示		避難はしごの段数は、階高に応じた段数とすること 形状 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式 対人衝突防止表示 ※図示（市販品） ※ステンレス製 径約30mm ・（ ） ・無し 誘導標識、非常用通入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。 製造所 監督職員の承諾する製造所 室名表示 ・室名札（※面付（箇所） ・持出し（箇所）） ・ピクトサイン（箇所） ※オーダー品 ・扉番号（箇所） ※オーダー品 ・誘導標識（面付 箇所、吊下 箇所） ※オーダー品 特記なき限り透湿防水シートは ニテハ：透湿防水シート1以上とする。（Ⅱは不可）		[20.2.10]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
⑮ 中間検査		⑯ 設備機器の設置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける 図示した鉄筋コンクリート梁の貫通孔及び鉄筋コンクリート部で、補強を必要とする貫通孔、開口部の補強、壁、天井の仕上材、下地材の補強、駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ並びに自動開閉装置取付け箇所の切込み及び補強は標準詳細図などのとおりとし、本工事とする。なお、細部については監理者と協議する。 設備機器の位置、取合いなどの検討のできる施工図を提出して、監理者の承認を受ける。 施工図等の著作権に係わる当該建築物に限り使用権は、発注者に移譲するものとする。		⑰ 木材の品質		⑱ 貼土瓦葺		21 補裁及び屋上緑化工事		1 大型鉢		※水抜き穴ニヶ所以上あるものを選定。ない場合は2カ所以上設置。 ※鉢底に空気抜き用のかさ上げをタイル等で施す事。		[23.1.3]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
⑰ 監督職員事務所		⑱ 会議室		20 先行モデルルーム		21 見本品の製作等		22 注意事項		23 山留め		24 シーリング		25 防水工事		26 遮熱工		27 遮熱工		28 遮熱工		29 遮熱工		30 遮熱工		31 遮熱工		32 遮熱工		33 遮熱工		34 遮熱工		35 遮熱工		36 遮熱工		37 遮熱工		38 遮熱工		39 遮熱工		40 遮熱工		41 遮熱工		42 遮熱工		43 遮熱工		44 遮熱工		45 遮熱工		46 遮熱工		47 遮熱工		48 遮熱工		49 遮熱工		50 遮熱工		51 遮熱工		52 遮熱工		53 遮熱工		54 遮熱工		55 遮熱工		56 遮熱工		57 遮熱工		58 遮熱工		59 遮熱工		60 遮熱工		61 遮熱工		62 遮熱工		63 遮熱工		64 遮熱工		65 遮熱工		66 遮熱工		67 遮熱工		68 遮熱工		69 遮熱工		70 遮熱工		71 遮熱工		72 遮熱工		73 遮熱工		74 遮熱工		75 遮熱工		76 遮熱工		77 遮熱工		78 遮熱工		79 遮熱工		80 遮熱工		81 遮熱工		82 遮熱工		83 遮熱工		84 遮熱工		85 遮熱工		86 遮熱工		87 遮熱工		88 遮熱工		89 遮熱工		90 遮熱工		91 遮熱工		92 遮熱工		93 遮熱工		94 遮熱工		95 遮熱工		96 遮熱工		97 遮熱工		98 遮熱工		99 遮熱工		100 遮熱工		101 遮熱工		102 遮熱工		103 遮熱工		104 遮熱工		105 遮熱工		106 遮熱工		107 遮熱工		108 遮熱工		109 遮熱工		110 遮熱工		111 遮熱工		112 遮熱工		113 遮熱工		114 遮熱工		115 遮熱工		116 遮熱工		117 遮熱工		118 遮熱工		119 遮熱工		120 遮熱工		121 遮熱工		122 遮熱工		123 遮熱工		124 遮熱工		125 遮熱工		126 遮熱工		127 遮熱工		128 遮熱工		129 遮熱工		130 遮熱工		131 遮熱工		132 遮熱工		133 遮熱工		134 遮熱工		135 遮熱工		136 遮熱工		137 遮熱工		138 遮熱工		139 遮熱工		140 遮熱工		141 遮熱工		142 遮熱工		143 遮熱工		144 遮熱工		145 遮熱工		146 遮熱工		147 遮熱工		148 遮熱工		149 遮熱工		150 遮熱工		151 遮熱工		152 遮熱工		153 遮熱工		154 遮熱工		155 遮熱工		156 遮熱工		157 遮熱工		158 遮熱工		159 遮熱工		160 遮熱工		161 遮熱工		162 遮熱工		163 遮熱工		164 遮熱工		165 遮熱工		166 遮熱工		167 遮熱工		168 遮熱工		169 遮熱工		170 遮熱工		171 遮熱工		172 遮熱工		173 遮熱工		174 遮熱工		175 遮熱工		176 遮熱工		177 遮熱工		178 遮熱工		179 遮熱工		180 遮熱工		181 遮熱工		182 遮熱工		183 遮熱工		184 遮熱工		185 遮熱工		186 遮熱工		187 遮熱工		188 遮熱工		189 遮熱工		190 遮熱工		191 遮熱工		192 遮熱工		193 遮熱工		194 遮熱工		195 遮熱工		196 遮熱工		197 遮熱工		198 遮熱工		199 遮熱工		200 遮熱工		201 遮熱工		202 遮熱工		203 遮熱工		204 遮熱工		205 遮熱工		206 遮熱工</	

[illegible]

設 計 概 要				面 積 表			
工事名称	長崎鼻公園屋外トイレ新築工事	工事期間	見積要項書に依る	敷地面積	270.49	m ²	81.82 坪
地名地番	〒896-0033 鹿児島県いちき串木野市小瀬町37番地	構 造	鉄骨造平屋建て	面積根拠	☐ 地積測量図 ☐ 社内実測図 ☐ 仮換地指定図（区画整理地域内） ☐ 既存確認申請図 ☐ 字図 ☐ 登記簿謄本		
用途地域	第一種低層住居専用地域 40／60	床 高	GL+50	地目	☐ 宅地 ☐ 山林 ☐ 畑 ☐ 雑種地 ☐ その他（ ）		
地域地区		軒 高	GL+2400				
防火地域	指定なし	最高高さ	GL+3310				
主要用途	基準法：休憩所(08310)＋パン店舗(08456) 消防法：(16)項イ＜(1)＋(3)ロ＋(6)ハ＋(15)＞	耐火建築物等の種別 ☐ 耐火建築物 ☐ 延焼防止建築物 ☐ 準耐火建築物 ☐ 準延焼防止建築物 ☐ その他		建築面積	63.36	m ²	19.16 坪
発 注 者	いちき串木野市 市長 中屋謙治 鹿児島県いちき串木野市昭和通133番地1 0996-33-5672			延床床面積	63.36	m ²	19.16 坪
中間検査	有り（2階の床及びこれを支えるはりに鉄筋を配置する工事の工程）・ 無						坪
備 考	・既存コンクリートブロック塀 有 無						
				建ぺい率 40	%	$\gt \frac{63.36}{270.49} \times 100 = 23.43\%$	・・・OK
				容 積 率 60	%	$\gt \frac{63.36}{270.49} \times 100 = 23.43\%$	・・・OK

外 部 仕 上 表	
屋 根	： アスファルティングル t2.8 葺き(スタックバターン) (MG-01シングルフ80 田島ルーフィング 同等品) 下地：粘着層付改質アスファルトシート防水 t1.5 +構造用合板（特類） t24 軒先金物：カラーGL鋼板 t0.35 曲げ加工
軒 裏	： 構造用合板（特類） t24 +アルミコンパウンド塗布（シルバーコート 日本ペイント同等品） 下地：鋼製垂木 St.□-45×75-φ500
外 壁－1	： 厚膜ポリウレタン塗装SGL鋼板-中波板-t0.5 縦張り(ハイランSGL-日鉄鋼-同等品)-SUS製釘等ヒッチ（重材山半/谷打ちφ230）—端部：VU120下地-波板曲げ施工 下地：通気横胴縁 □45-φ455（端部防虫通気材施工）+透湿防水シート+構造用合板 t12 +胴縁G-2.3×50×100（垂鉛メッキ処理材）
外 壁－2	： 窯業系サイディング t16 横張り（フラットオール 塗装品 コナ 同等品） 下地：通気金具工法 +透湿防水シート（アクリルバールーフィング NS 日本アクリル）+構造用合板 t12
基 礎 巾 木	： 化粧型枠コンクリート打ち放し補修
土 間	： コンクリート金コシ仕上 ケイ酸トリウム系コンクリート表面強化材 塗布
軒 樋	： ガルバリウム鋼板製半丸樋（105φ）
縦 樋	： カラーVU管φ65（ファインメタリック）（エロン）
鎖 樋	： 丸型ステンレス線（SUS316P /丸-SEO RAIN-CHAIN）

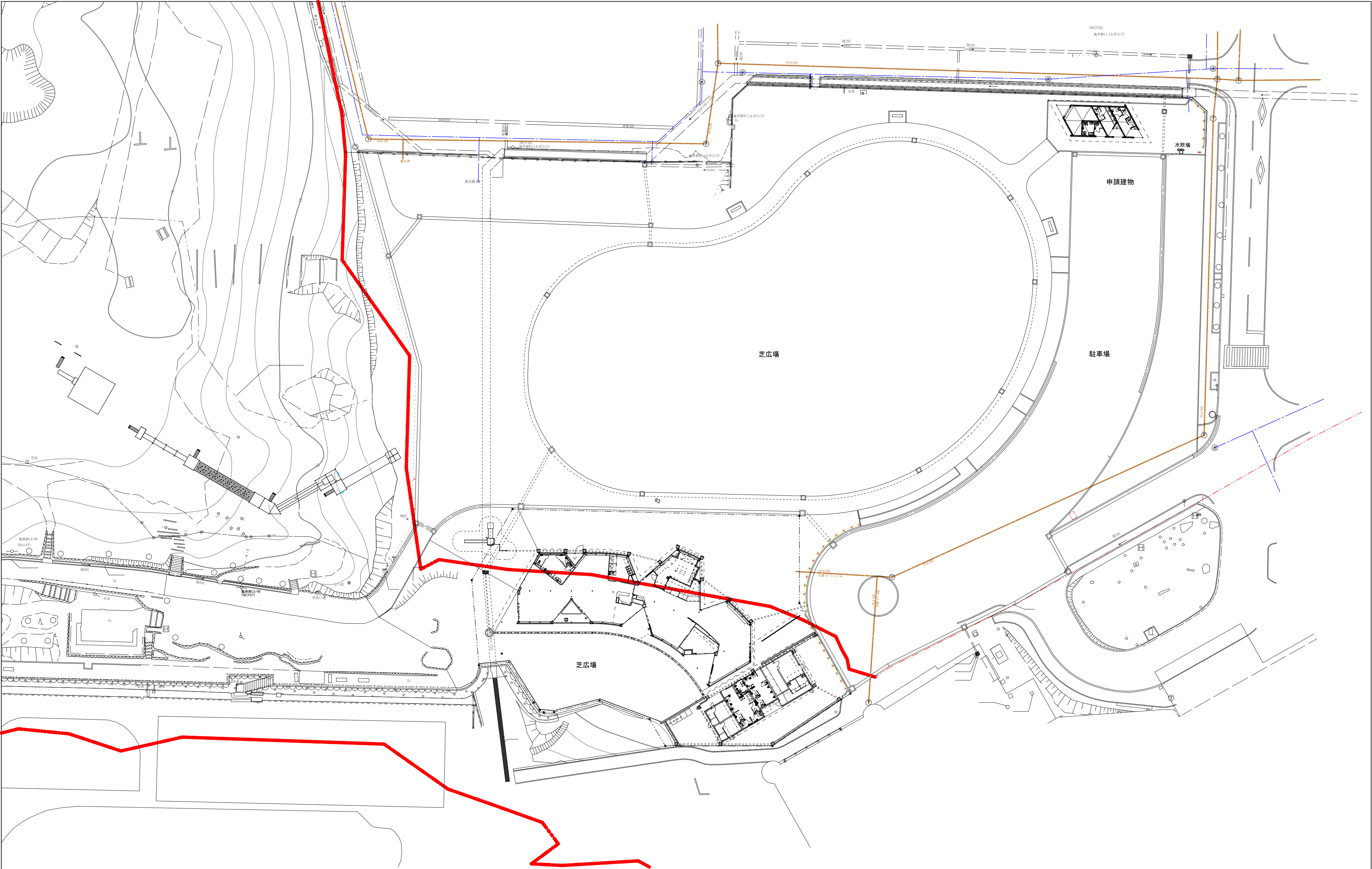
配 置 図 S=1:200



内部仕上表													廻縁		備 考
階	床高	室 名	天 井 高	排煙告示	床		巾 木		壁		天 井		木製	造作製厩タフ	
					下 地	仕 上	仕 上	H	下 地	仕 上	下 地	仕 上			
	±0	女性トイレ	-		CK	表面強化剤塗布	コンクリート打放シ	1200	LGS +耐水合板 t9 LGS	メラミン不燃化粧板 t3 木毛セメント板 t15	-	直天井			棚
	±0	男性トイレ	-		CK	表面強化剤塗布	コンクリート打放シ	1200	LGS +耐水合板 t9 LGS	メラミン不燃化粧板 t3 木毛セメント板 t15	-	直天井			汚垂石、棚
	±0	多目的トイレ	2,200		CK	表面強化剤塗布	コンクリート打放シ	1200	LGS	木毛セメント板 t15	LGS	ケイ酸カルシウム板 t6 +EP			
	±0	倉庫	-		CK	表面強化剤塗布	コンクリート打放シ	1200	LGS	木毛セメント板 t15	-	直天井			
	±0	掃除具入	-		CK	表面強化剤塗布	コンクリート打放シ	1200	LGS	木毛セメント板 t15	-	直天井			面台

一街に緑を 建築に夢をー

MEMO		 株式会社 東条設計	代 表	一級建築士 第 96589号 東 條 正 博	構 造 設 計	構造設計一級建築士 第 3194号 一級建築士 第115262号 鎌 田 道 清	PROJECT 長崎鼻公園屋外トイレ 新築工事		SUBJECT 設計概要・面積表・外部仕上表・附近見取図・配置図	
			管 理 建築士	一級建築士 第231912号 折 田 孝 一	設 備 設 計	設備設計一級建築士 第 4067号 一級建築士 第292543号 上 野 祐 司	PROJECT NO. 2 2 4 0 9 8	DATE 2 0 2 6 . 0 6 . 3 0	SCALE S=1:100	NO. A-2-1



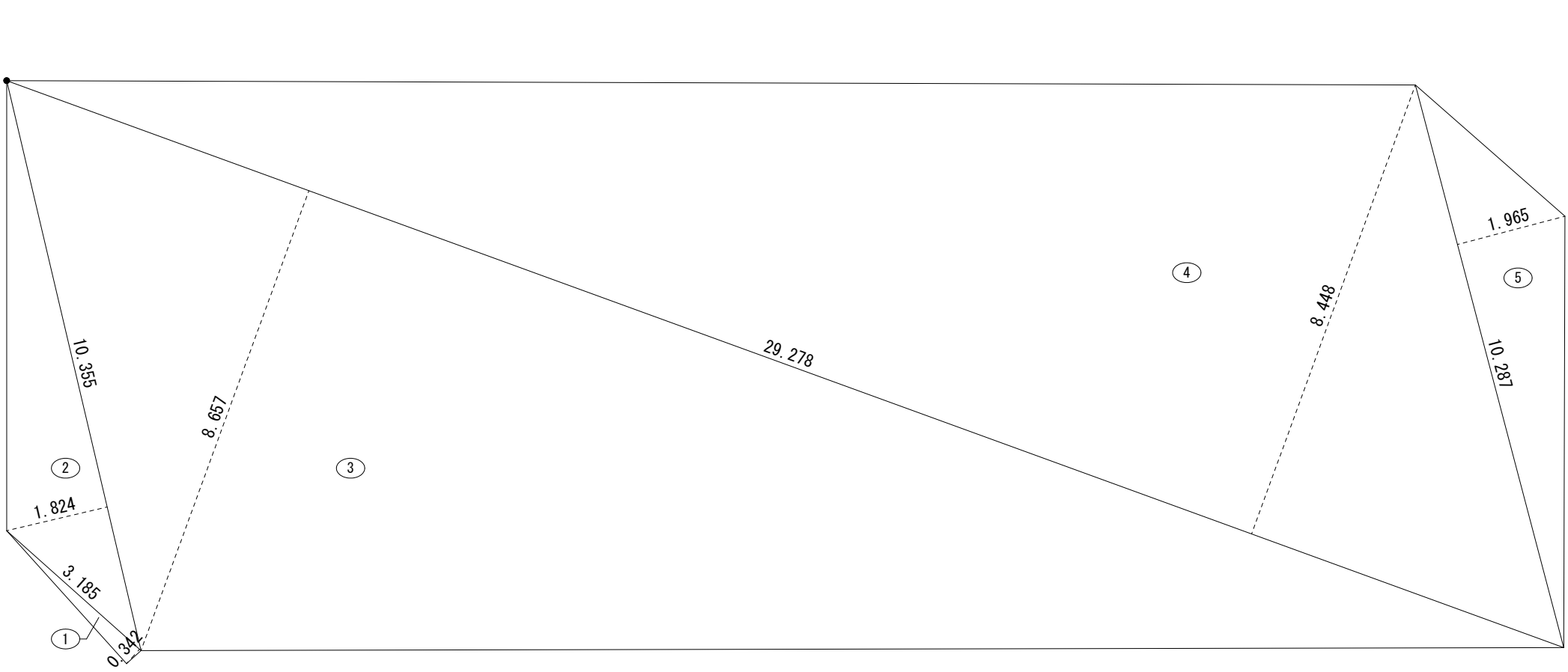
--- 自然公園区域

一街に緑を 建築に夢をー

MEMO



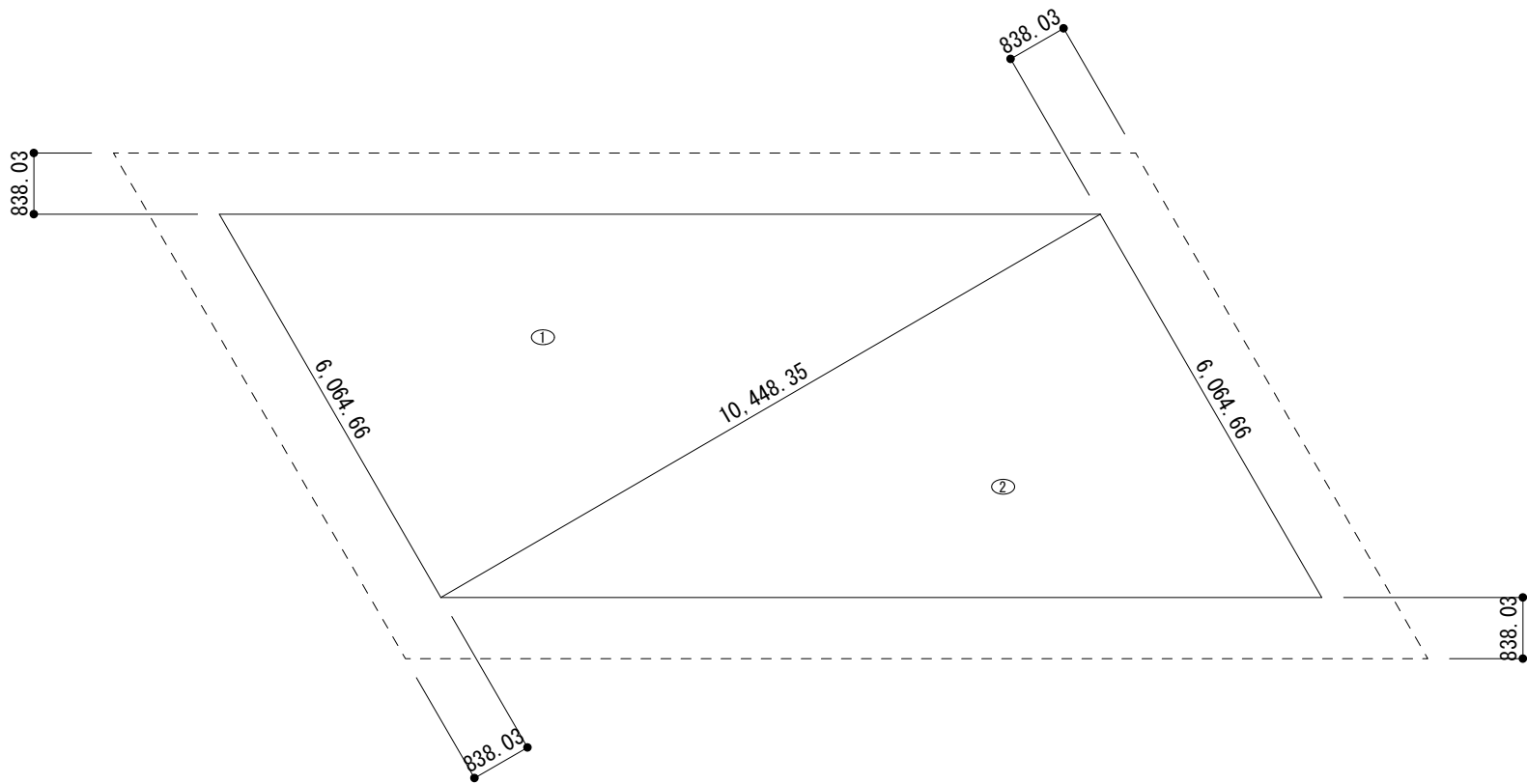
代 表	一級建築士 第 96589号 東 條 正 博	構 造 設 計	構造設計一級建築士 第 3194号 一級建築士 第115262号 鎌 田 道 清	PROJECT 長崎鼻公園屋外トイレ 新築工事		SUBJECT 全体配置図	
管 理 建 築 士	一級建築士 第231912号 折 田 孝 一	設 備 設 計	設備設計一級建築士 第 4067号 一級建築士 第292543号 上 野 祐 司	PROJECT NO. 2 2 4 0 9 8	DATE 2 0 2 6 . 0 6 . 3 0	SCALE S=1:100	NO. A-2-2



敷地求積図 S=1:100

求積表（敷地面積）

番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	3.185	0.342	1.089270	0.544635
2	10.355	1.824	18.887520	9.443760
3	29.278	8.657	253.459646	126.729823
4	29.278	8.448	247.340544	123.670272
5	10.287	1.965	20.213955	10.106978
合 計				270.495468
敷 地 面 積				270.49 m²

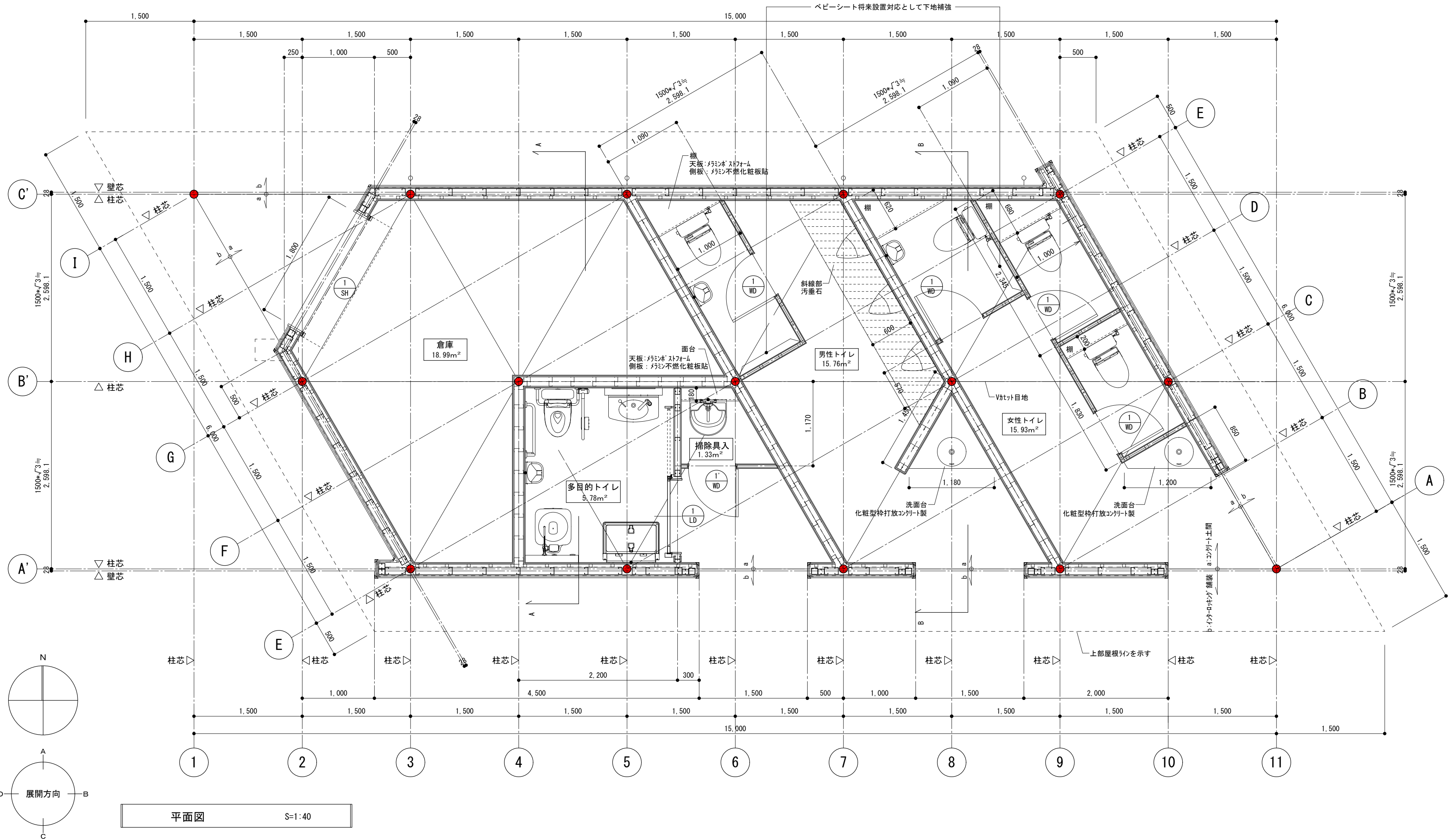


求積図 S=1:100

求積表（床面積）

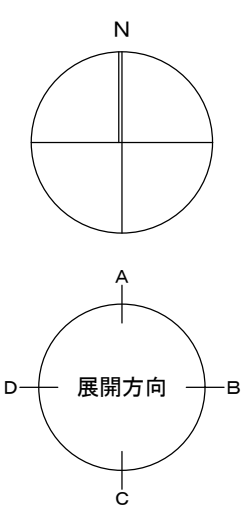
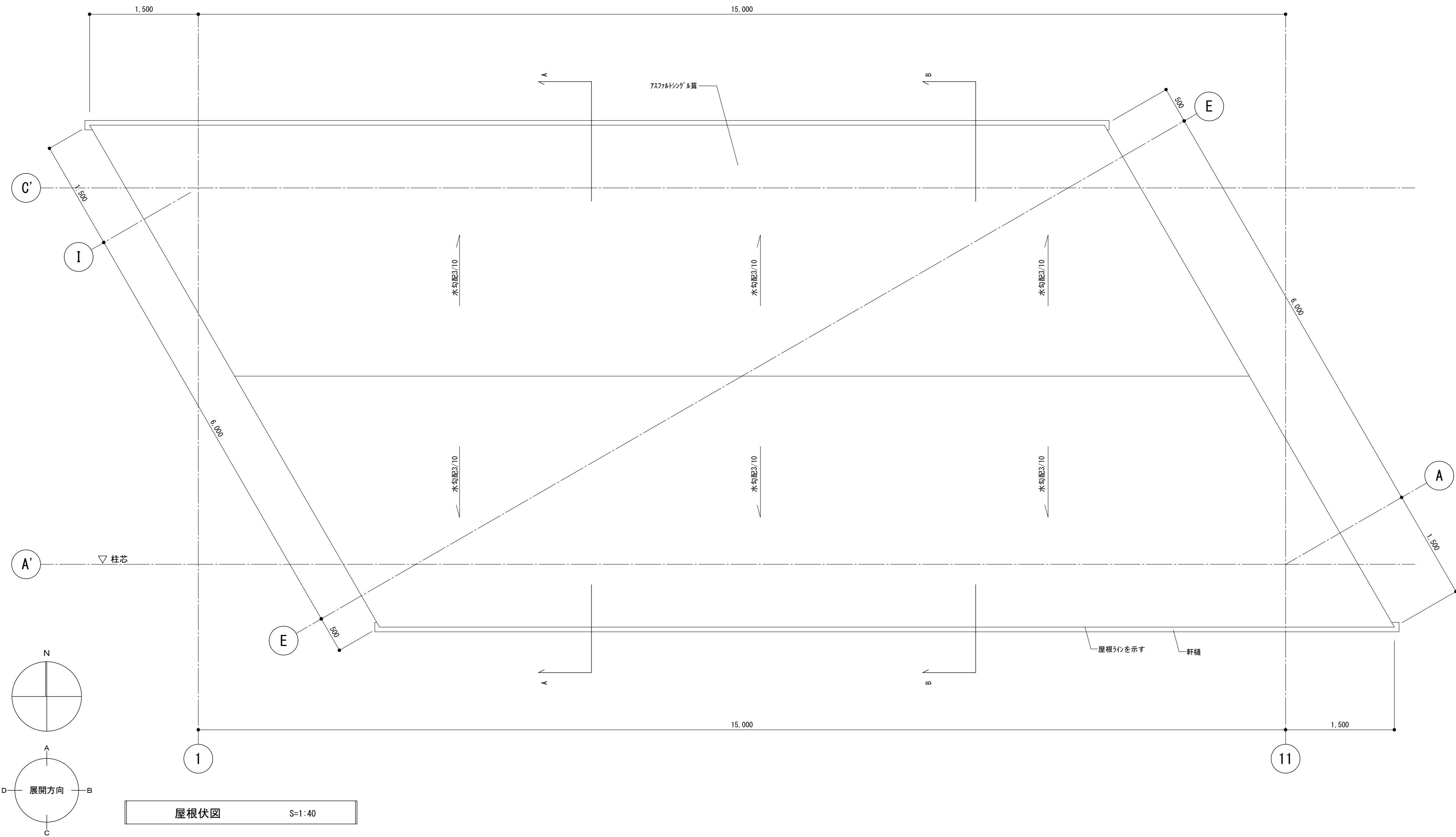
番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	6.06466	10.44835	63.365690	31.682845
2	6.06466	10.44835	63.365690	31.682845
合 計				63.365690
建 築 面 積				63.36㎡
床 面 積				63.36㎡

一街に緑を 建築に夢をー



一街に緑を 建築に夢をー

MEMO				代 表	一級建築士 第 96589号 東 條 正 博	構 造 設 計	構造設計一級建築士 第 3194号 一級建築士 第115262号 鎌 田 道 清	PROJECT 長崎鼻公園屋外トイレ 新築工事		SUBJECT 平面図	
				管 理 建 築 士	一級建築士 第231912号 折 田 孝 一	設 備 設 計	設備設計一級建築士 第 4067号 一級建築士 第292543号 上 野 祐 司	PROJECT NO. 2 2 4 0 9 8	DATE 2 0 2 6 . 0 6 . 3 0	SCALE A2 S=1:40 A4 S=1:80	NO. A-2-4



屋根伏図 S=1:40

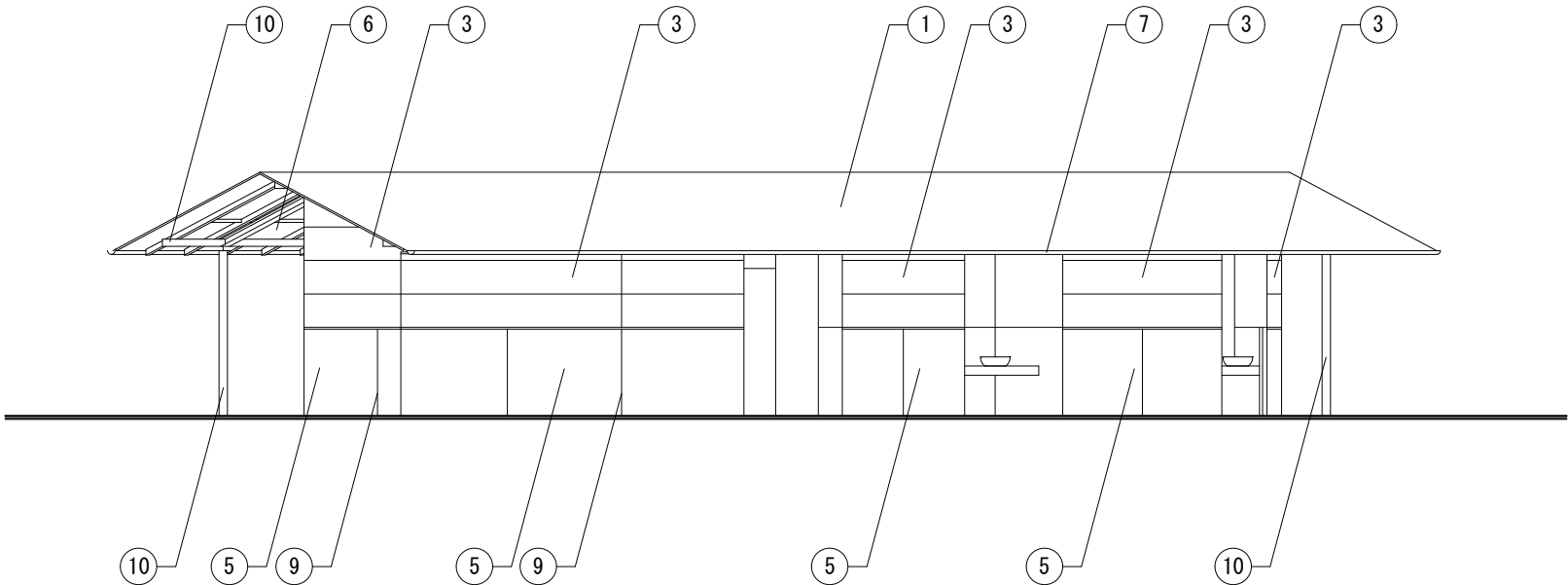
一街に緑を 建築に夢をー

MEMO

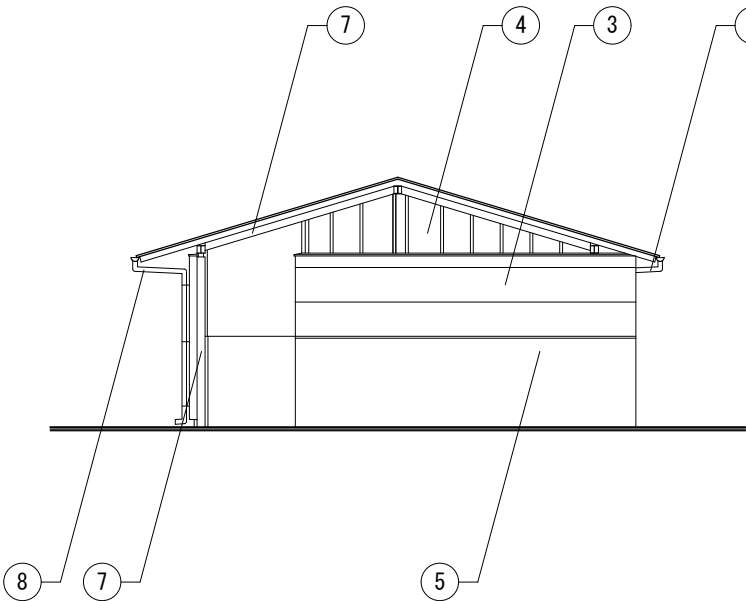


代 表	一級建築士 第 96589号 東 條 正 博	構 造 設 計	構造設計一級建築士 第 3194号 一級建築士 第115262号 鎌 田 道 清	PROJECT 長崎鼻公園屋外トイレ 新築工事		SUBJECT 屋根伏図	
管 理 建築士	一級建築士 第231912号 折 田 孝 一	設 備 設 計	設備設計一級建築士 第 4067号 一級建築士 第292543号 上 野 祐 司	PROJECT NO. 2 2 4 0 9 8	DATE 2 0 2 6 . 0 6 . 3 0	SCALE A2 S=1:40 A4 S=1:80	NO. A-2-5

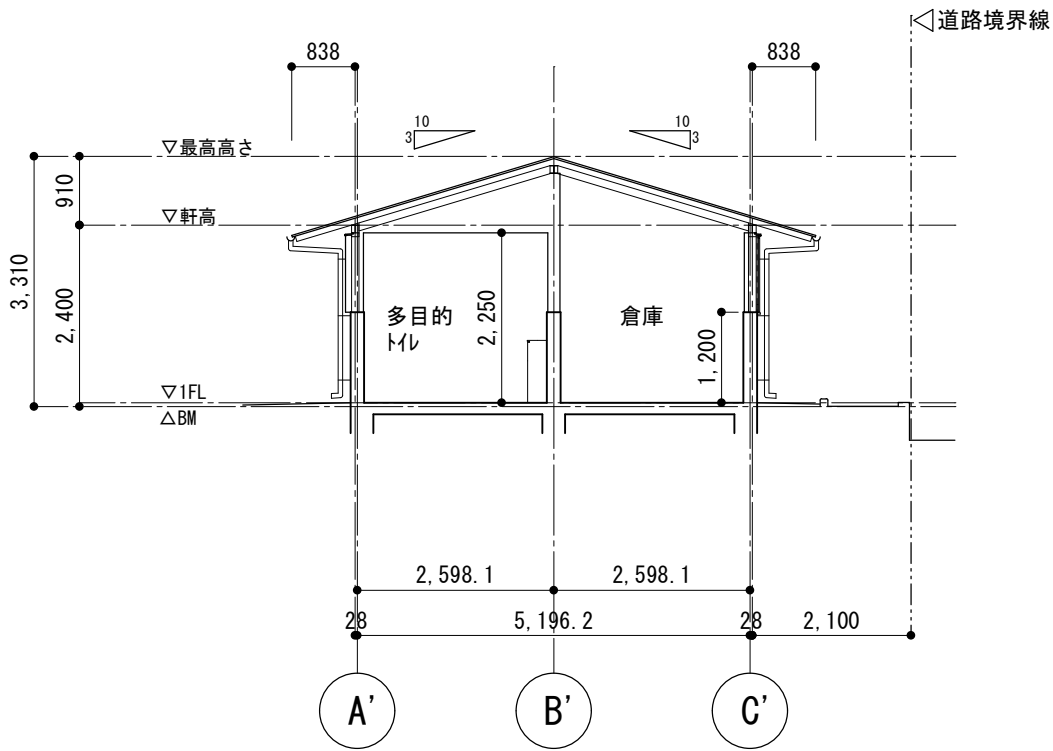
①	屋根：アスファルトシングル 葺き	④	外壁③：ポリ炭波板 縦張り スレート小波	⑦	軒樋：ガルバリウム鋼板製 半丸樋（105φ）	⑩	屋外鉄部：溶融亜鉛メッキ処理
		⑤	基礎巾木：普通型枠コンクリート打放し補修	⑧	縦樋：カー-VU 65φ		
③	外壁②：窯業系サイディング横張り	⑥	軒天：針葉樹合板 +7Mメイント塗布	⑨	誘発目地		



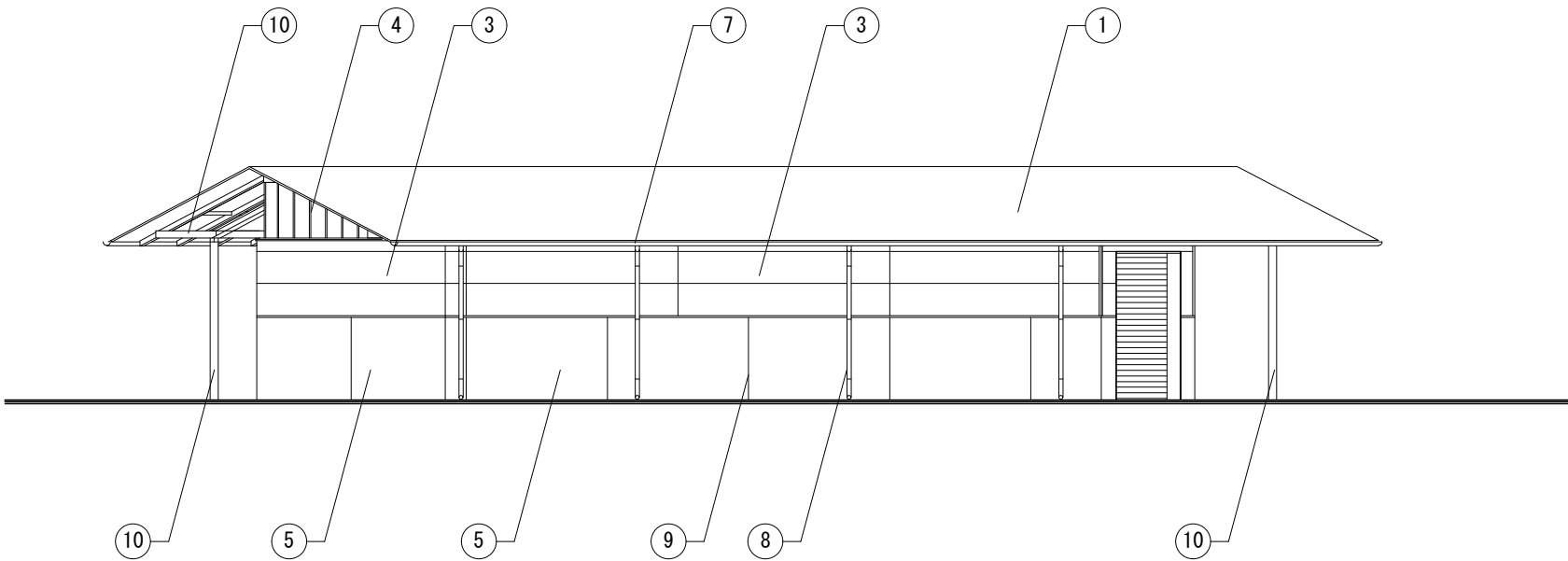
南立面図 S=1:100



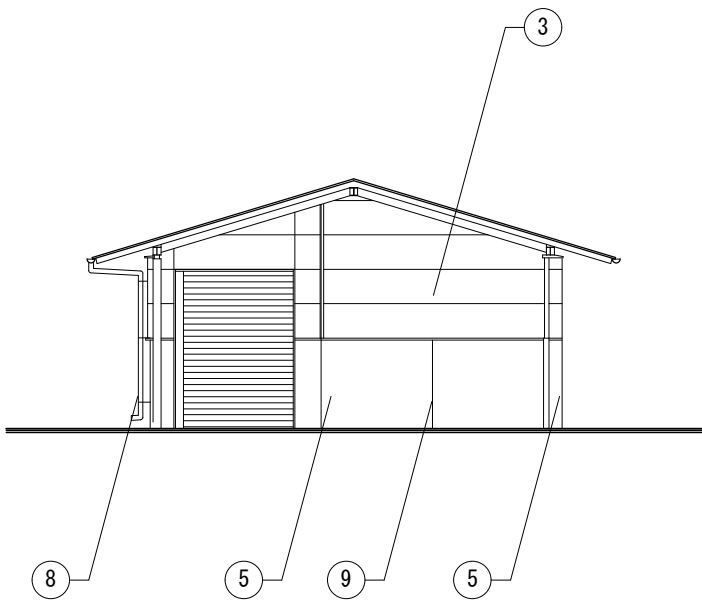
東立面図 S=1:100



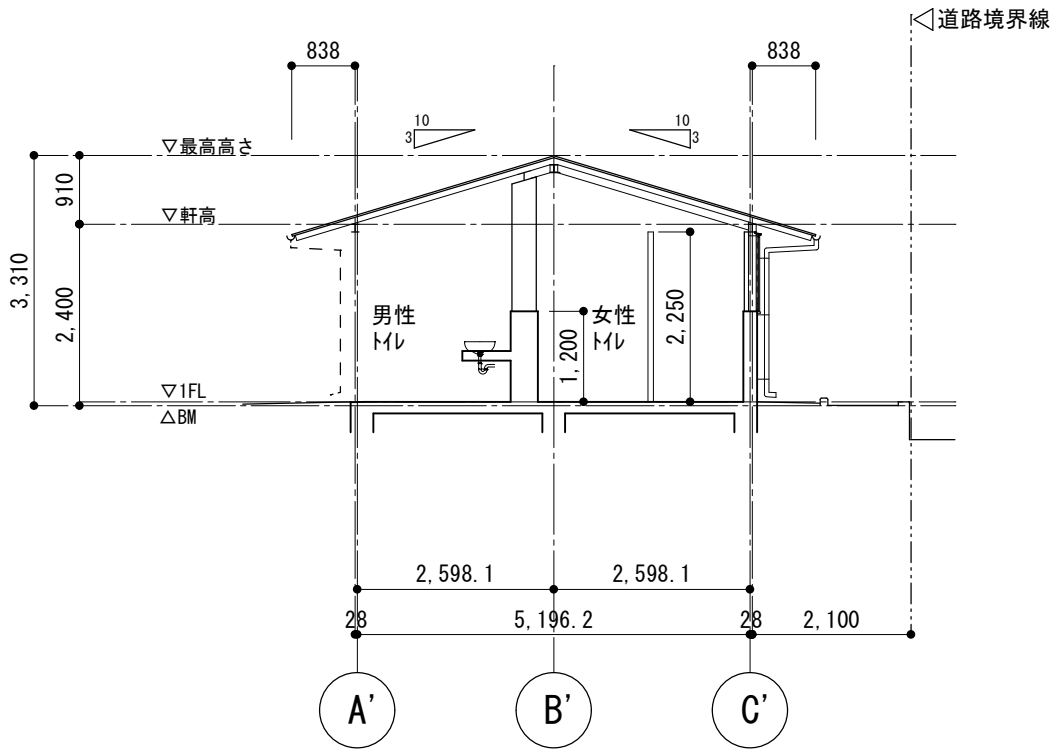
A - A 断面図 S=1:100



北立面図 S=1:100

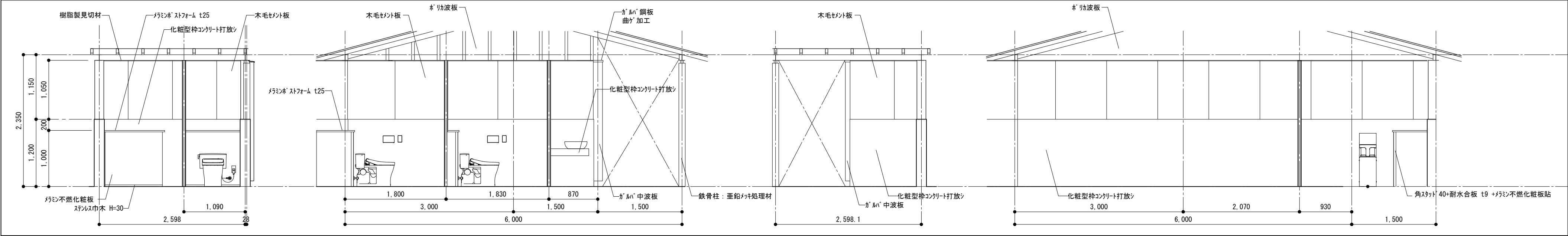


西立面図 S=1:100



B - B 断面図 S=1:100

MEMO			代 表	一級建築士 第 96589号 東 條 正 博	構 造 設 計	構造設計一級建築士 第 3194号 一級建築士 第115262号 鎌 田 道 清	PROJECT 長崎鼻公園屋外トイレ 新築工事		SUBJECT 立面図・断面図		
			管 理 建築士	一級建築士 第231912号 折 田 孝 一		設 備 設 計	設備設計一級建築士 第 4067号 一級建築士 第292543号 上 野 祐 司	PROJECT. NO. 2 2 4 0 9 8	DATE 2 0 2 6 . 0 6 . 3 0	SCALE A2 S=1:100 A4 S=1:200	NO. A-2-6



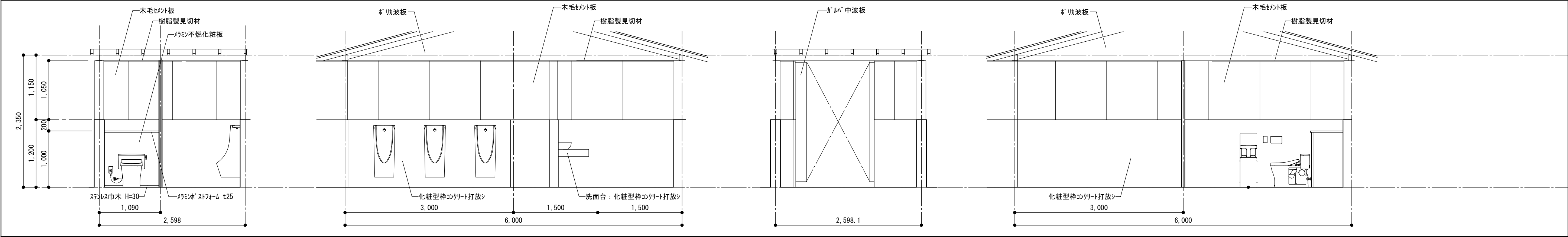
女性トイレ

A

B

C

D



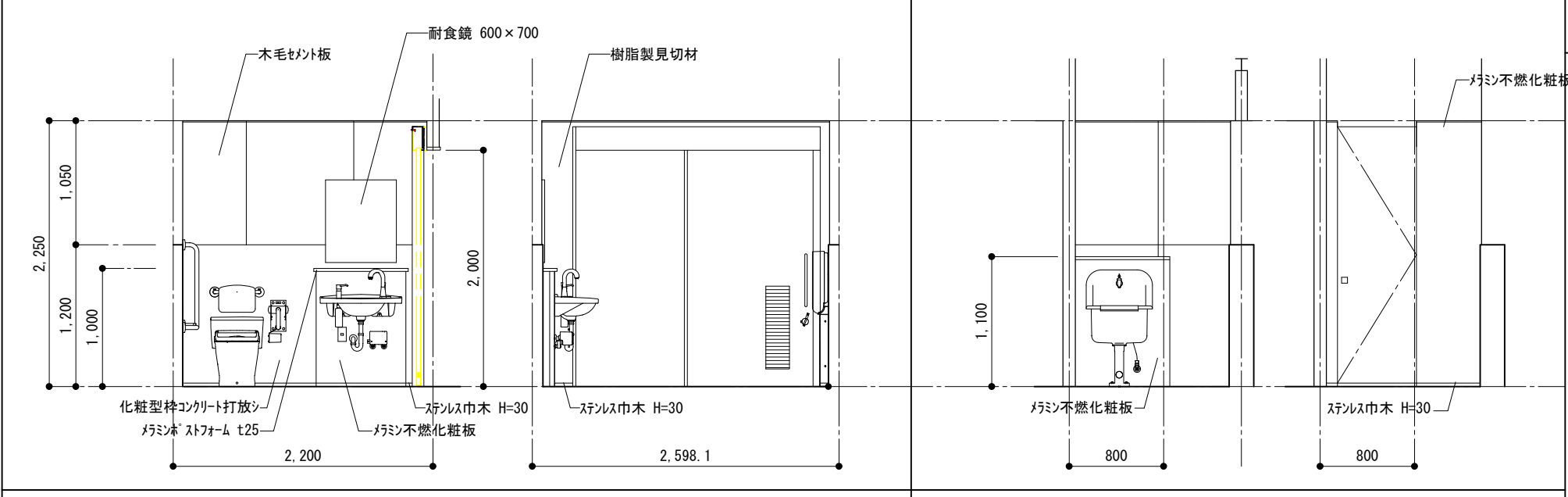
男性トイレ

A

B

C

D



多目的トイレ

A

B

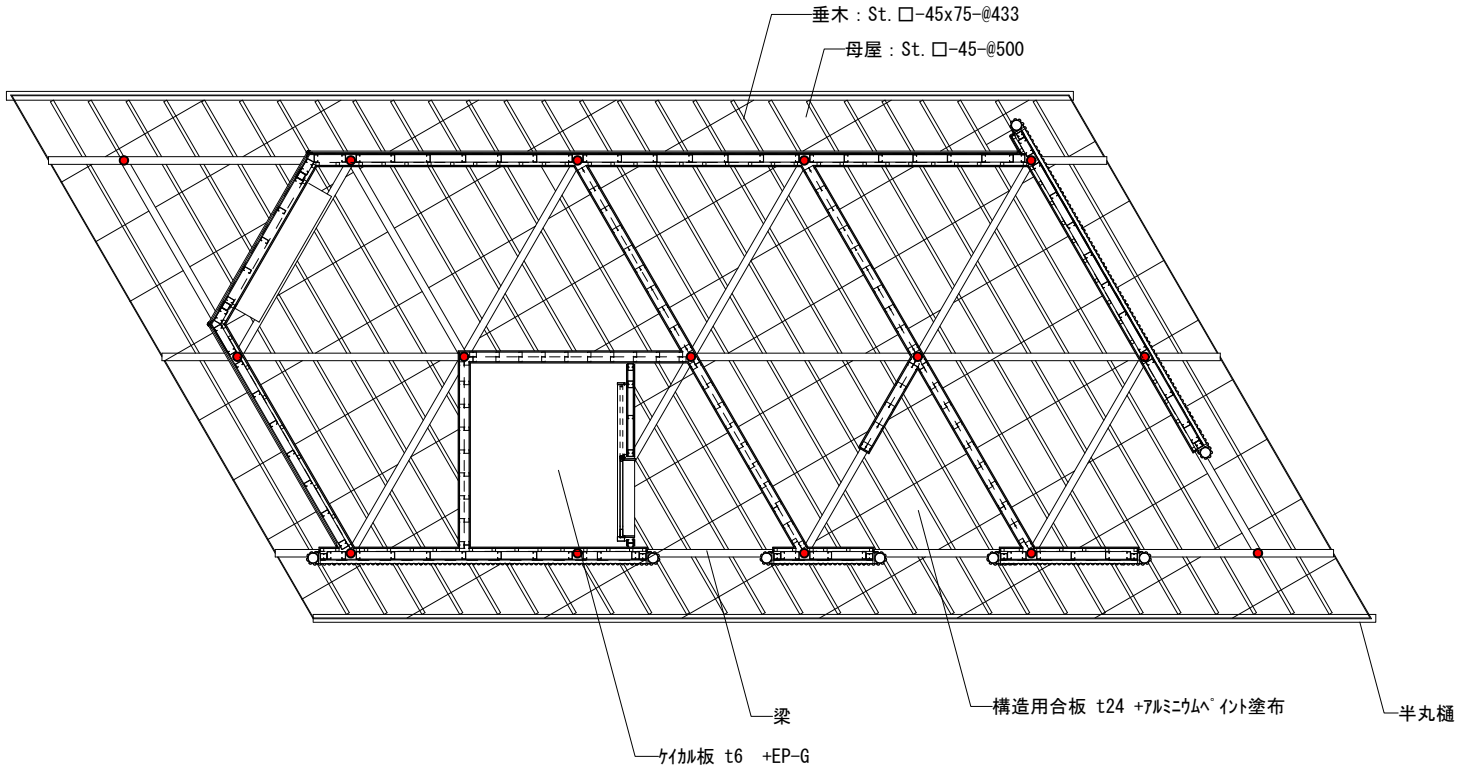
掃除具入

A

A

天井伏図

S=1:100



一街に緑を 建築に夢をー

MEMO			代 表	一級建築士 第 96589号 東 條 正 博	構 造 設 計	構造設計一級建築士 第 3194号 一級建築士 第115262号 鎌 田 道 清	PROJECT 長崎鼻公園屋外トイレ 新築工事		SUBJECT 展開図、天井伏図	
			管 理 建 築 士	一級建築士 第231912号 折 田 孝 一	設 備 設 計	設備設計一級建築士 第 4067号 一級建築士 第292543号 上 野 祐 司	PROJECT NO. 2 2 4 0 9 8	DATE 2 0 2 6 . 0 6 . 3 0	SCALE S=1:50	NO. A-2-8

軽量鉄骨壁下地仕様 S=1:50 軽量鉄骨壁下地開口部補強要領 S=1:50 設備埋込ボックス類 (スリッパ・コンセント他) 開口補強要領 S=1:30 S=1:10 天井点検口取付開口補強 S=1:30 目地合わせについて		小便器周り S=1:40 S・K 前面 S=1:30 一般トイレ S=1:30			
巾木（外部） S=1:10 縦樋 S=1:10 サイディング張り 土台部納まり 鉄骨造 S=1:10 土台水切り ジョイント部 S=1:10 サイディング張り土台部 水切り金物納まり S=1:10 サイディング張りサッシ部 枠廻り止水処理納まり S=1:5					
MEMO 株式会社 東条設計 東 條 正 博 代表 一級建築士 第 96589号 構 造 設 計 一級建築士 第 3194号 管 理 建 築 士 一級建築士 第 231912号 設 計 一級建築士 第 4067号 設備設計一級建築士 第292543号 PROJECT 長崎鼻公園屋外トイレ新築工事 PROJECT NO. 2 2 4 0 9 8 DATE 2 0 2 6 . 0 6 . 3 0 SUBJECT 標準図、特記事項 SCALE — NO. A-2-9					

 株式会社 東条設計

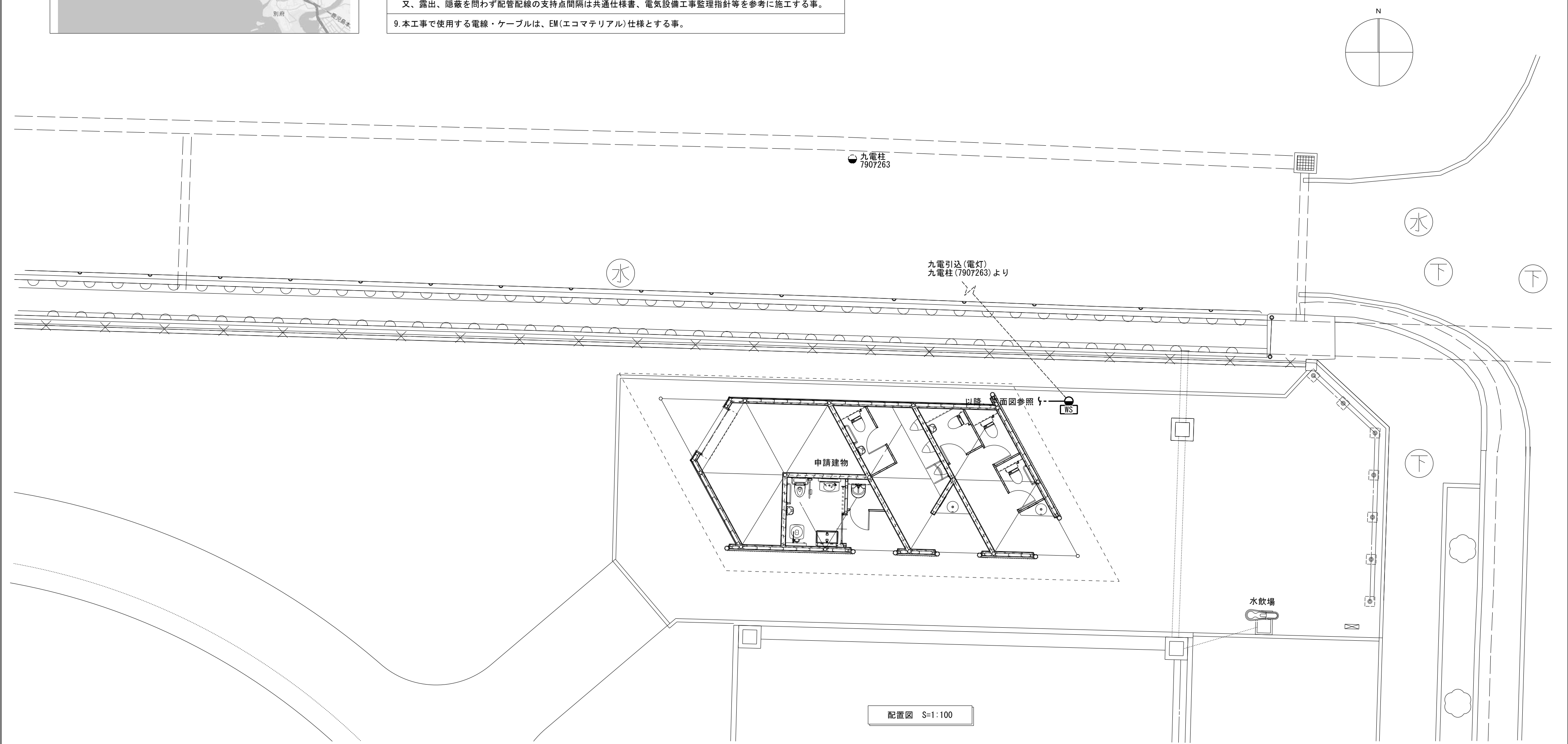
代 表	一級建築士 東 條 第 96589号 稔 博	構 造 設 計	構造設計一級建築士 一級建築士 鎌 田 道 清 第 3194号 第115262号	PROJECT	長崎鼻公園屋外トイレ 新築工事		SUBJECT	特記仕様書	
管 理 建築士	一級建築士 折 田 孝 一 第231912号	設 計	設備設計一級建築士 一級建築士 上 野 祐 司 第 4067号 第292543号	PROJECT, NO.	2 2 4 0 9 8		DATE	2 0 2 6 . 0 2 . 2 0	
				SCALE	A2 S=No, Scale A4 S=No, Scale		N.O. E-01		

付近見取図 No. Scale



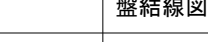
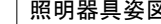
工事注意事項

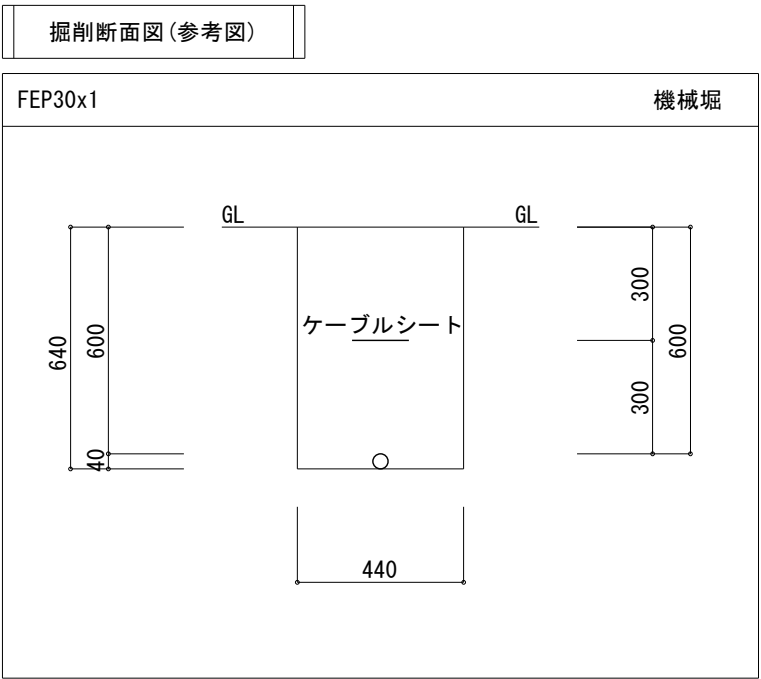
1. 本工事は、施工前に施設管理者及び監督員と充分な打合わせを行い施設運営に支障がない様に施工計画書及び工程表を作成し、係員の承諾を得た後、施工する事。
2. 工事現場において、周辺住民への安全対策等は受注者が充分な誠意をもって行い事故防止に万全を期すこと。
3. 官公署等への必要な提出書類は、請負業者にてすみやかに行う事。
4. 設備図面に準拠し既設部分及び他設備と確実に連動するように施工する事。
5. 外部配管の支持金物はステンレス製とし、ボルト、ナット類も全てステンレス (SUS-304) 製とする。
6. 掘削工事においては、既設の埋設・隠蔽物に注意し、万一それに損傷を与えた場合、受注者の負担にて速やかに原形復旧、機能復旧を行うこと。関係者に遅滞なく報告を行うこと。
7. 構内線路工事についても他施工業者（建築、機械設備工事等）と充分協議、調整し施工すること。
8. 天井内、造作壁内の隠蔽部分に敷設する配管配線は他設備との離隔に注意し整然と支持を行う事。
又、露出、隠蔽を問わず配管配線の支持点間隔は共通仕様書、電気設備工事監理指針等を参考に施工する事。
9. 本工事で使用する電線・ケーブルは、EM (エコマテリアル) 仕様とする事。



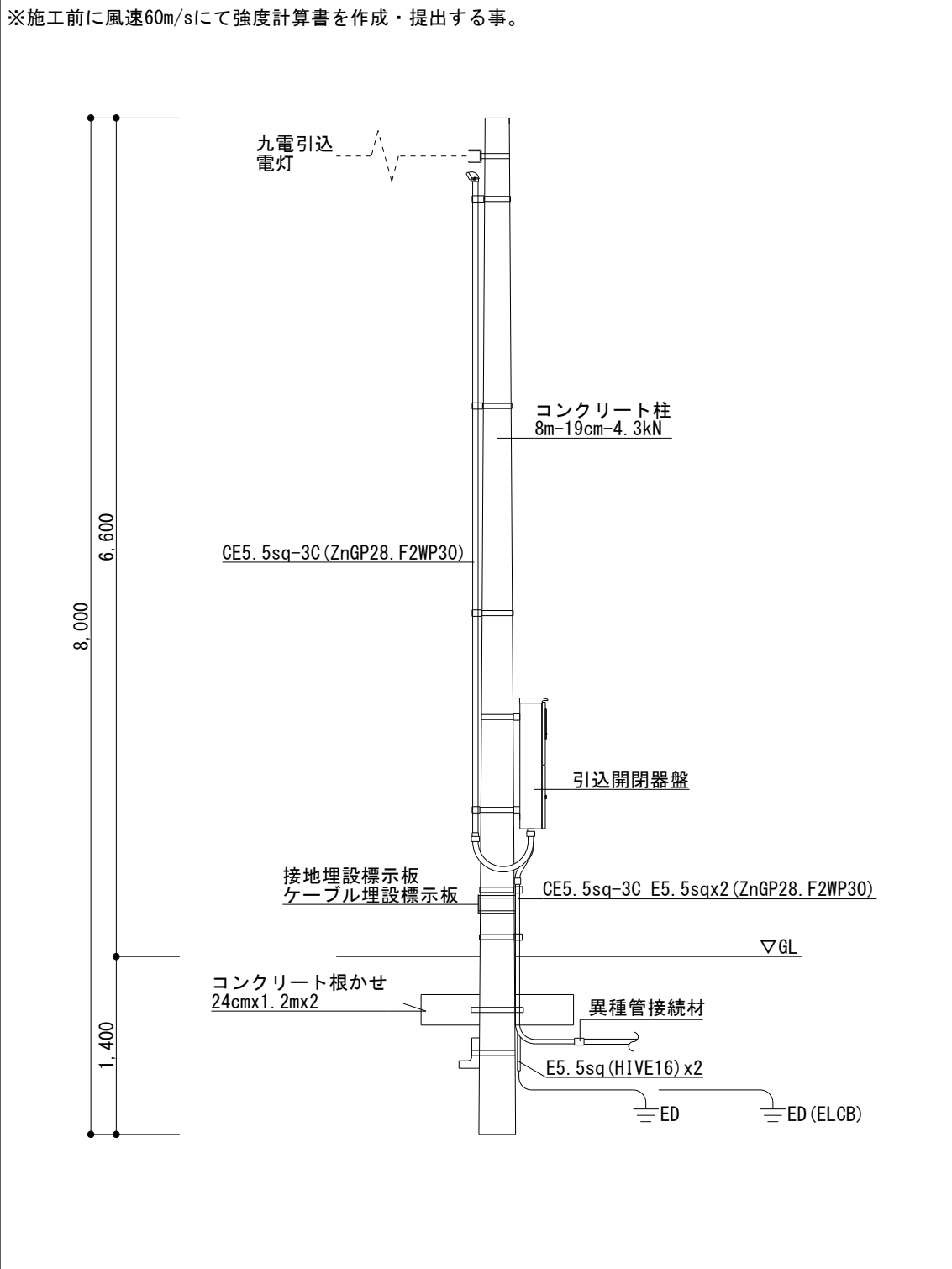
一街に緑を 建築に夢をー

MEMO				代 表	一級建築士 第 96589号 東 條 正 博	構 造 設 計	構造設計一級建築士 第 3194号 一級建築士 第115262号 鎌 田 道 清	PROJECT 長崎鼻公園屋外トイレ 新築工事		SUBJECT 付近見取図. 配置図	
				管 理 建 築 士	一級建築士 第231912号 折 田 孝 一	設 備 設 計	設備設計一級建築士 第 4067号 一級建築士 第292543号 上 野 祐 司	PROJECT NO. 2 2 4 0 9 8	DATE 2 0 2 6 . 0 2 . 2 0	SCALE A2 S=1:100 A4 S=1:200	NO. E-02

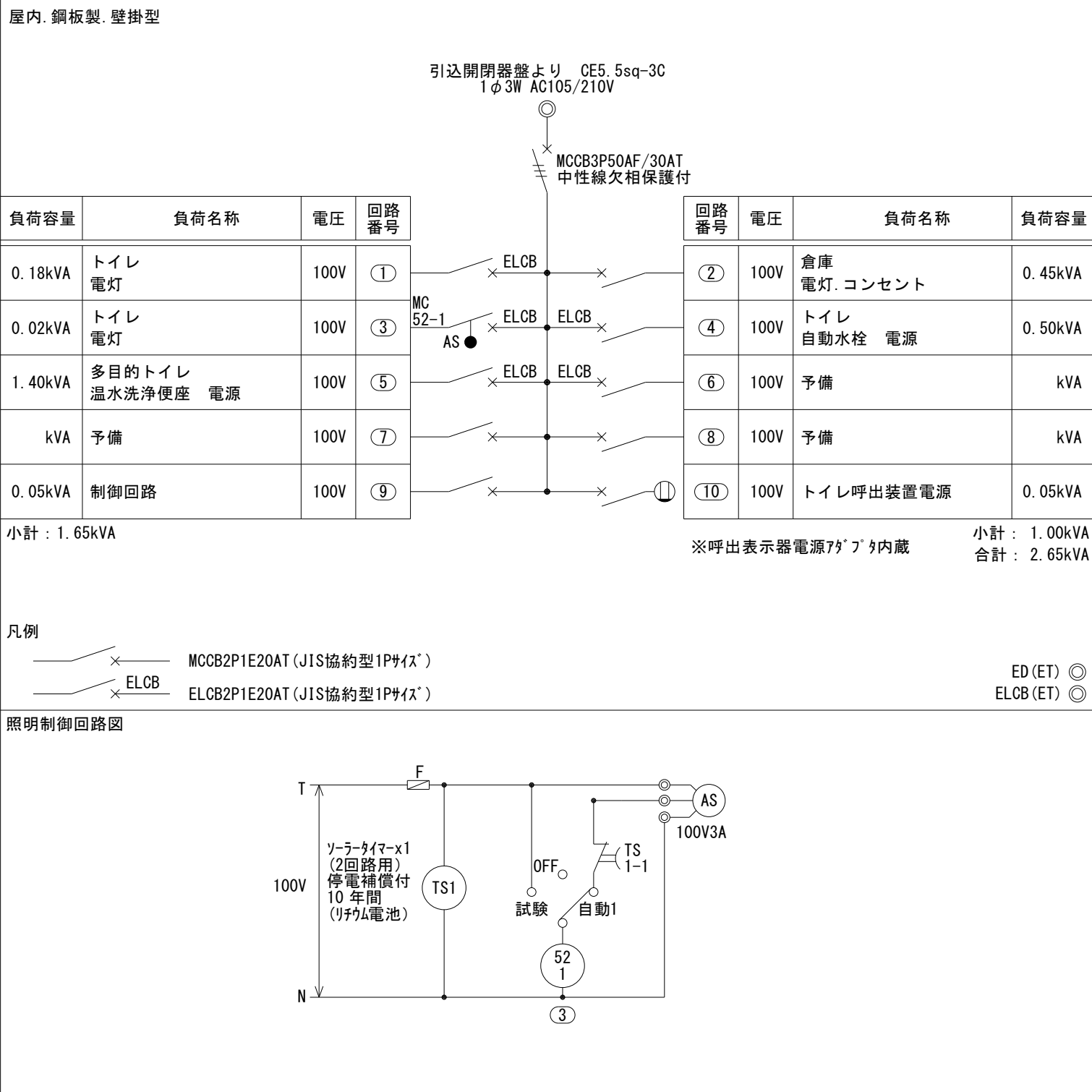
凡例			
記号	名称	仕様	備考
	構内引込柱	構内引込柱装柱図参照	
	引込開閉器盤	盤結線図参照	
	電灯分電盤	盤結線図参照	裏板サイズ：300x200x100 共
	照明器具 A	照明器具姿図参照	
	照明器具 B	照明器具姿図参照	
	照明器具 C	照明器具姿図参照	
	埋込スイッチ	1P15Ax1 SUSﾌﾟﾚｰﾄ	
	人感センサー	天井形 親機	
	人感センサー	壁掛形 親機	
	人感センサー	壁掛形 子機	
	自動点滅器	AC100V 3A	
	アウトレットボックス	OB54C VE	
	埋込コンセント	2P15Ax2 SUSﾌﾟﾚｰﾄ	
	埋込コンセント	2P15Ax1 EET SUSﾌﾟﾚｰﾄ	
	呼出表示器	弱電機器詳細図参照	
	呼出ボタン	弱電機器詳細図参照	
	表示プレートA	弱電機器詳細図参照	
	表示プレートB	弱電機器詳細図参照	
	埋設標示板	黄銅製	
	キャッツアイ		
	接地工事	D種	接地埋設標示板共
	異種管接続材		
	天井内配線		
	壁内隠蔽配管配線		
	土間隠蔽配管配線		
	地中埋設配管配線		



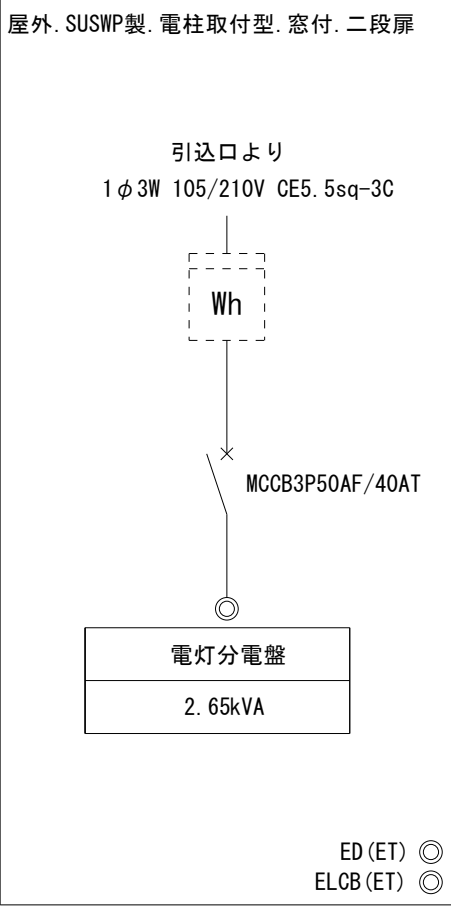
構内引込柱装柱図 (参考図)



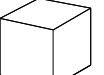
電灯分電盤 結線図



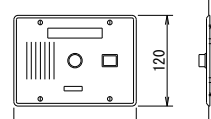
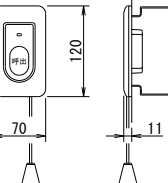
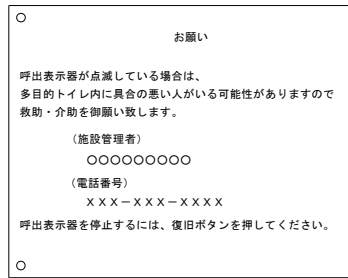
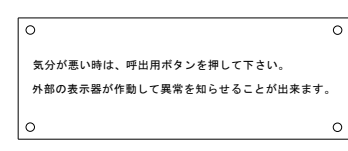
引込開閉器盤 (WS) 結線図



照明器具姿図 (参考図) (照明器具の消費電力は JIS C 8105-3 の測定方法による)

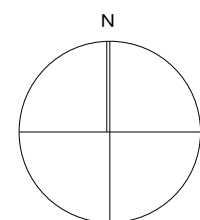
A	LEDウォールライト	B	LEDダウンライト
			
公共施設型番：LBF3MP/RP-4-26 器具光束：2,600lm 以上 消費電力：31.0W 以下 色温度：5,000K 光源寿命：40,000時間 以上		公共施設型番：LRS1-08 器具光束：800lm 以上 消費電力：9.0W 以下 色温度：5,000K 光源寿命：40,000時間 以上	
C	LEDブラケットライト		
			
防雨型 器具光束：500lm 以上 消費電力：7.5W 以下 色温度：2,700K 光源寿命：40,000時間 以上			

弱電機器詳細図 (参考図)

 呼出表示器 (1窓) 電源がﾌﾞｯｸﾞ共	 呼出ボタン														
 <table border="1"><thead><tr><th>電源電圧</th><th>DC12V (電源がﾌﾞｯｸﾞから供給)</th></tr><tr><th>形状</th><th>1窓 埋込形 (3個用スイッチ仕様)</th></tr><tr><th>材質</th><th>ステンレス</th></tr><tr><th>表示方式</th><th>断続ブザー音と表示窓点灯</th></tr></thead></table>	電源電圧	DC12V (電源がﾌﾞｯｸﾞから供給)	形状	1窓 埋込形 (3個用スイッチ仕様)	材質	ステンレス	表示方式	断続ブザー音と表示窓点灯	 <table border="1"><thead><tr><th>形状</th><th>壁埋込型 (1個用スイッチ仕様)</th></tr><tr><th>材質</th><th>自己消火性樹脂</th></tr><tr><th>備考</th><th>引き紐・押釦式 点字表示</th></tr></thead></table>	形状	壁埋込型 (1個用スイッチ仕様)	材質	自己消火性樹脂	備考	引き紐・押釦式 点字表示
電源電圧	DC12V (電源がﾌﾞｯｸﾞから供給)														
形状	1窓 埋込形 (3個用スイッチ仕様)														
材質	ステンレス														
表示方式	断続ブザー音と表示窓点灯														
形状	壁埋込型 (1個用スイッチ仕様)														
材質	自己消火性樹脂														
備考	引き紐・押釦式 点字表示														
 A 表示プレートA 表示プレートx1枚 (黒文字刻印) 白色アクリル板 (参考寸法150x200x2.0t) 	 B 表示プレートB 表示プレートx2枚 (黒文字刻印) 白色アクリル板 (参考寸法50x150x2.0t) 														

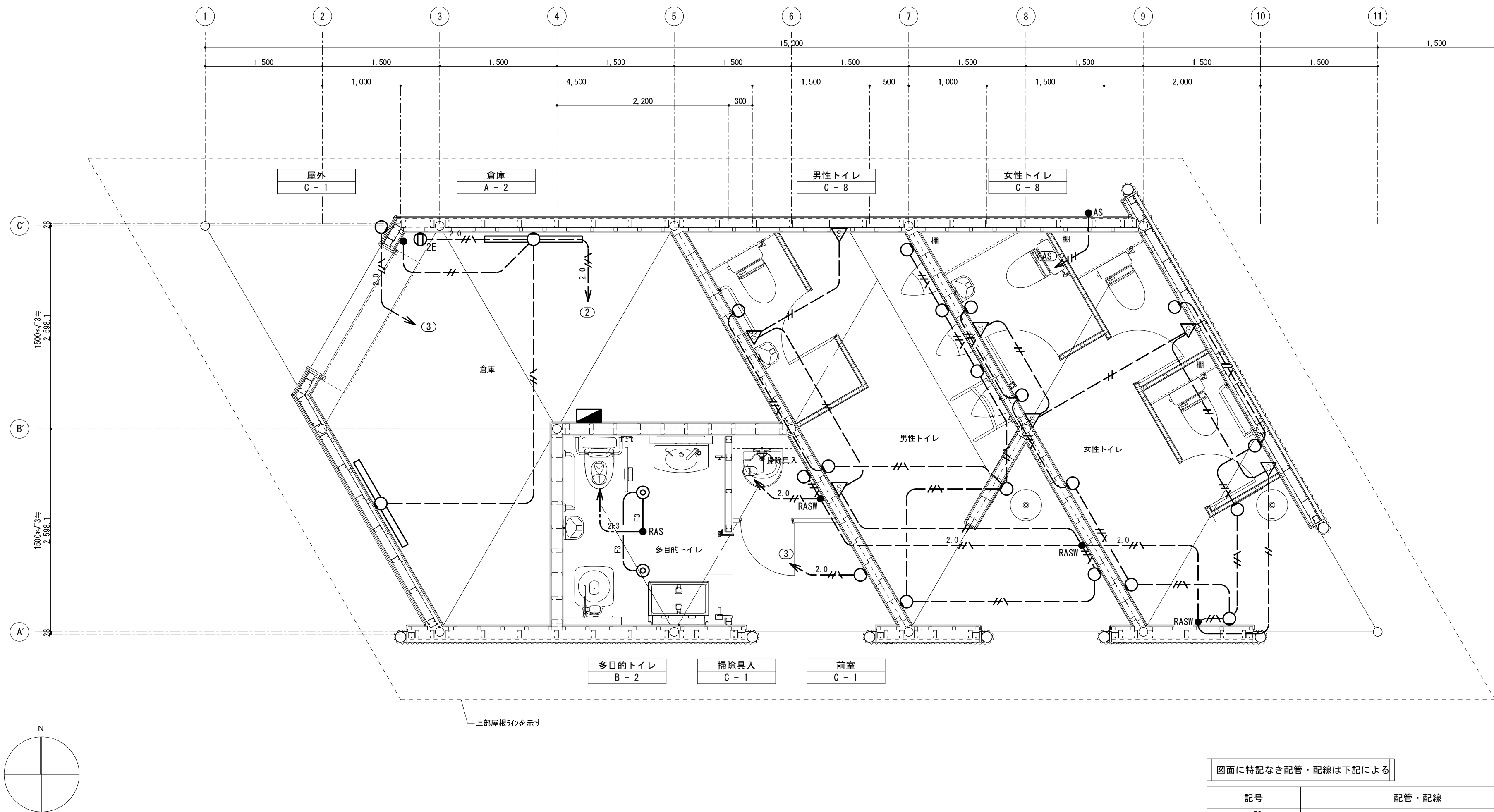
一街に緑を 建築に夢をー

MEMO		代表 一級建築士 第 96589号 東 條 正 博	構造設計 一級建築士 第 3194号 一級建築士 第115262号 鎌 田 道 清	PROJECT 長崎鼻公園屋外トイレ 新築工事	SUBJECT 凡例. 盤結線図
		管理建築士 一級建築士 第231912号 折 田 孝 一	設備設計 一級建築士 第4067号 一級建築士 第292543号 上 野 祐 司	PROJECT. NO. 2 2 4 0 9 8	SCALE A2 S-No, Scale A4 S-No, Scale
				DATE 2026.02.20	NO. E-03



図面に特記なき配管・配線は下記による

記号	配管・配線
	EM-IE2.0x2 E2.0 壁内隠蔽配管配線 保護管(PF16)
	EM-IE2.0x2 E2.0 土間隠蔽配管配線 保護管(PF16)
	EM-AE1.2-2C 壁内隠蔽配管配線 保護管(PF16)
	EM-AE1.2-2C 土間隠蔽配管配線 保護管(PF16)



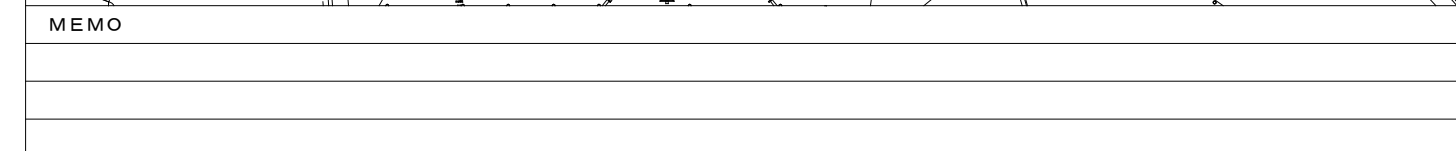
図面に特記なき配管・配線は下記による

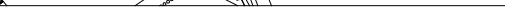
記号	配管・配線
F3	EM-EEF1.6-3C(1C:E) 天井内配線
2F3	EM-EEF2.0-3C(1C:E) 天井内配線 壁内保護管(PF22)
EM-IE1.6x2	土間隠蔽配管配線 保護管(PF16)
EM-IE1.6x3	土間隠蔽配管配線 保護管(PF16)
EM-IE1.6x2 E1.6	土間隠蔽配管配線 保護管(PF16)
EM-IE2.0x2 E2.0	土間隠蔽配管配線 保護管(PF16)

トイレ平面図 S=1:40

一街に緑を 建築に夢をー

MEMO		代 表	一級建築士 第 96589号 東 條 正 博	構 造 設 計	構造設計一級建築士 第 3194号 一級建築士 第115262号 鎌 田 道 清	PROJECT 長崎鼻公園屋外トイレ 新築工事		SUBJECT 電灯設備平面図	
		管 理 建築士	一級建築士 第231912号 折 田 孝 一	設 備 設 計	設備設計一級建築士 第 4067号 一級建築士 第292543号 上 野 祐 司	PROJECT. NO. 2 2 4 0 9 8	DATE 2 0 2 6 . 0 2 . 2 0	SCALE A2 S=1:40 A4 S=1:80	NO. E-05



	代 表	一級建築士 第 96589号 東 條 正 博	構 造 設 計	構造設計一級建築士 第 3194号 一級建築士 第115262号 鎌 田 道 清	PROJECT 長崎島公園屋外トイレ 新築工事		SUBJECT 衛生設備図 (配置図)	
	管 理 建 築 士	一級建築士 第231912号 折 田 孝 一	設 備 設 計	設備設計一級建築士 第 4067号 一級建築士 第292543号 上 野 祐 司	PROJECT. NO. 224098	DATE 2026. 02. 20	SCALE A2 S=1:300 A4 S=1:600	NO. M-02

管種使用区分表

名 称	記 号	管 種	記号	使 用 区 分	備 考
給 水 管	―― ―――	耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	HIVP	屋外埋設部	
		内外面硬質塩化ビニルライニング鋼管	SGP-VD	屋内一般・土間埋設部	
排 水 管	――――――	硬質ポリ塩化ビニル管（一般管）	VP	屋外埋設部	
		硬質ポリ塩化ビニル管（一般管）	VP	屋内一般・土間埋設部	
通 気 管	―― ―――	硬質ポリ塩化ビニル管（一般管）	VP	屋内一般・土間埋設部	
地中埋設標	●	鉄製			舗装部

保温・防露仕様区分表

施 工 箇 所	給水	排水	通気	防 露 ・ 塗 装 ・ 防 食 仕 様
地 中 埋 設	A	A	－	A 採管のまま
土 間 埋 設	A	A	A	B 防露(標準仕様書に準ずる)
天 井 内	－	－	－	C 調合ペイント2回塗り
空 隙 壁 中	A	A	－	D 保温チューブ巻き
屋 内 露 出	－	－	C	E 耐熱保温チューブ巻き
屋 外 露 出	－	－	C	

※ 保温チューブは、配管との間に空気層が出来ないように施工すること。

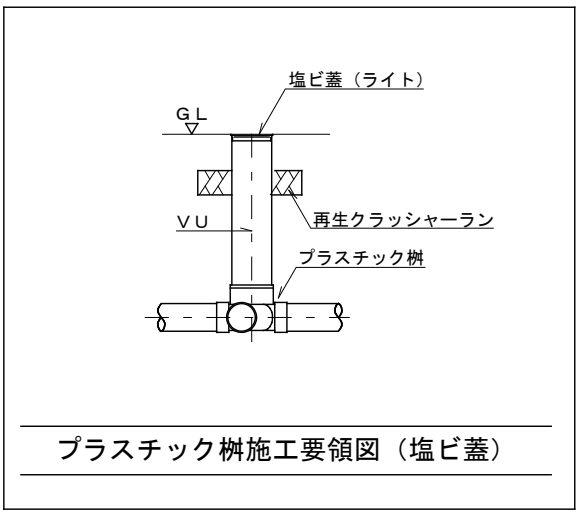
器具明細表(衛生)

注) 貯湯式電気温水器の定格加熱能力及び消費電力は「JIS C 9219」で規定された定格条件による。

名 称	参 考 型 番	1 階				電源	消費電力 (kW)	合計数量	備 考
		多目的トイレ	掃除具入	男性トイレ	女性トイレ				
	T O I T O								
洋風大便器	CFS498BC+TCF5841AUPR+ENC283CR+YH701	1				1φ100V	1.3	1	防露大便器、専用洗浄弁式(掃除口付)、温水洗浄便座(瞬間式・便ふたなし)、背もたれ(ハードタイプ)、棚付二連紙巻器(SUS製)、他金具・配管類一式
洋風大便器	CFS498B+TC301+YH701			1	3			4	防露大便器、専用洗浄弁式、普通便座(ソフト閉止付)、棚付二連紙巻器(SUS製)、他金具・配管類一式
小便器	UFS900R			3		1φ100V	－	3	壁掛型センサー体形小便器、他金具・配管類一式
洗面器	L270D+TLE28SS1A	1				1φ100V	－	1	壁掛洗面器、台付自動水栓(単水栓)、他金具・配管類一式
カウンター式洗面器	LS705+TLE26SL1A			1	1	1φ100V	－	2	ベッセル式洗面器、台付自動水栓(単水栓)、他金具・配管類一式
洗面カウンター	建築工事			(1)	(1)			(2)	建築工事
化粧鏡	YM4560AE			1	1			2	450×600、盗難防止型
化粧鏡	YM4560AE↑	1						1	600×900、盗難防止型
洗濯用流し	SK507+T132AUN13C		1					1	大形、自在水栓(13mm、スパウト220mm)、他金具・配管類一式
汚物流し	SKL330DNFP	1				1φ100V	－	1	掃除口付床置床排水汚物流し、レバー式自在水栓、自動フラッシュバルブ、無線スイッチユニット、補高台、他金具・配管類一式
ペビーシート	YKA25N	1						1	樹脂製
ペビーチェア	YKA15S	1		1	1			3	平面設置タイプ、樹脂製
L型手すり	T112GL10	1		1	1			3	前出寸法120mm、L=700mm、樹脂被覆タイプ
跳ね上げ手すり	T112HP7	1						1	L=700mm、紙巻器付、樹脂被覆タイプ
小便器用手すり	T112QU22			1				1	樹脂被覆タイプ
横水栓	TZ8AKUH13	1		1	1			3	13mm、ホース接続・差し込み式、カップリング付、キース

樹リスト

記号	名 称	仕 様	参考深さ
①	プラスチック樹	90L ― 100 × 150 (塩ビ蓋)	GL- 500
②	プラスチック樹	45Y ― 100 × 150 (塩ビ蓋)	GL- 530
③	プラスチック樹	45Y ― 100 × 150 (塩ビ蓋)	GL- 570
④	プラスチック樹	ST ― 100 × 150 (塩ビ蓋)	GL- 640
⑤	プラスチック樹	DR ― 100 × 150 (塩ビ蓋)	GL- 700



一街に緑を 建築に夢をー

MEMO		代 表	一級建築士 第 96589号 東 條 正 博	構 造 設 計	構造設計一級建築士 第 3194号 一級建築士 第115262号 鎌 田 道 清	PROJECT 長崎鼻公園屋外トイレ 新築工事		SUBJECT 衛生設備図 (管種使用区分表、器具明細表)	
		管 理 建築士	一級建築士 第231912号 折 田 孝 一	設 備 設 計	設備設計一級建築士 第 4067号 一級建築士 第292543号 上 野 祐 司	PROJECT NO. 2 2 4 0 9 8	DATE 2026. 02. 20	SCALE A2 S=No. Scale A4 S=No. Scale	N O. M-03

